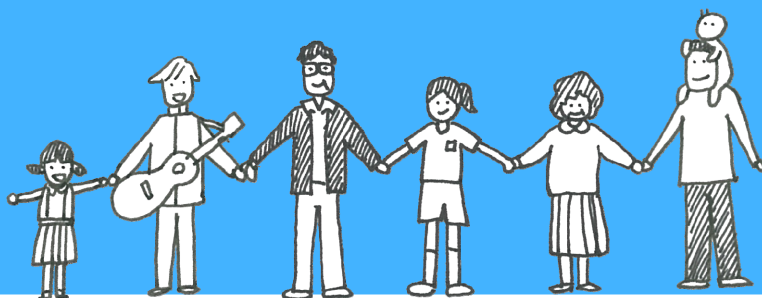




南部地域がまとまる、つながる、元気になる。

子どもに夢を！ 地域に輝きを！



(仮称) 南部コラボセンター基本構想
平成 26 年 (2014 年) 3 月 豊中市

はじめに

豊中市の南部地域は、歴史のあるまちで活気にあふれています。とりわけ昭和に入ってから、商工業を中心に発展し、人口も急増しました。駅前に集積する商業は賑わいを生み、ものづくり企業の集積はまちに豊かさをもたらしました。また、由緒ある神社や大阪音楽大学が立地するなど歴史的・文化的な社会資源が豊富で、祭りなどを通じたご近所づきあいは下町らしい人情味のある豊かな風土を生み出しています。

一方で、少子高齢化が進み、まちの活気に陰りが見えはじめています。また、長期の景気低迷などによる社会経済環境の変化は、地域経済や住民生活、更には、次世代を担う子どもたちの健やかな育ちにも影響を及ぼすことが懸念されています。

その中で、豊中市は（仮称）南部コラボセンター構想を打ち出しました。

発端は、南部地域に散在する、老朽化した公の施設などの再整備が目的でしたが、「施設を利用する市民の利便性に十分配慮しながら、地域の拠点づくり」を行うという「複合化・多機能化・戦略的配置についての基本方針」（平成24年12月）から、既存施設を複合化するだけでなく、上述の南部地域の状況を踏まえ、地域の活性化と課題解決のために求められる施設とその機能を改めて抽出することとしました。

この間、南部地域の学校や施設で構成する整備検討会議で議論するとともに、市民会議やラウンドテーブルなどを重ねながら市民の皆さまからもさまざまなご意見をいただきました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

この基本構想は、これらの意見を集約し、求められる施設とその機能、取り組むべき事業のイメージをまとめたものです。今後はこの基本構想を基礎として、（仮称）南部コラボセンター建設に向けて皆さまのご意見をお聴きしながら調査検討を進め、さらに具体化させていきます。

もとより、（仮称）南部コラボセンターができたからといって、たちまち南部地域の課題が解消し、活性化するものではありません。まちづくりにかかるさまざまな施策や市民、市民団体、事業者などの皆さまとの取り組みの積み重ねが必要です。本文で触れられている施策や事業のうち現段階で取り組めるものは、施設間はもちろん、皆さまと連携しながらモデル的に実施してまいります。

（仮称）南部コラボセンターが南部地域の活性化と一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりのキーステーションとしてそれらの取り組みの拠点となることをめざしてまいります。

平成26年(2014年)3月

(仮称) 南部コラボセンター基本構想 もくじ

はじめに

1. 構想づくりの背景

(1) 立地、人口	1
(2) 暮らし	3
(3) 教育、子育て	5
(4) 文化、活力	8
(5) 公共施設	12

2. (仮称)南部コラボセンター実現に向けた5つの基本方針とビジョン

(1) 5つの基本方針	14
① 地域へのほこりと南部地域のブランドを市民が主体となって創造する	
② 生活面の課題を改善し、「いきいきと」「充実した」暮らしと福祉を実現する	
③ 地域を担う次世代を地域全体で育む	
④ 老朽化し、散在する公共施設やサービスをとりまとめ、市民サービスの拠点を形成する	
⑤ 地域の教育環境の再編と連動、連携して地域ぐるみの教育に取り組む ～ (仮称)南部コラボセンターの機能を補うサテライト機能の設置～	
(2) (仮称)南部コラボセンタービジョン	15
子どもに夢を！地域に輝きを！南部地域がまとまる、つながる、元気になる。	

3. 南部地域の活性化に向けて求められる機能

(1) 生活、学習等支援拠点機能	17
(2) 交流拠点機能	17
(3) 地域ブランド創造拠点機能	18
(4) 市民活動コーディネート機能	19
(5) 市民サービス拠点機能	19

4. (仮称)南部コラボセンターの施設構成と施策

(1) 求められる機能を担う施設構成	21
(2) 求められる機能を担う新たな施策	23
① 南部の子どもを地域全体で支える施策	
② いつも人が集い気軽に交流できるにぎわい拠点とするための施策	
③ ほこりを高め、ブランドを形成・発信する施策	

5. (仮称)南部コラボセンターの担い手と運営のイメージ

(1) (仮称)南部コラボセンターの担い手	23
(2) 運営のイメージ	23

6. (仮称)南部コラボセンターの施設イメージ

(1) 気軽に人が集う「楽しい施設」	24
(2) 一体感のある「複合施設」	25
(3) 頼りになる「専門施設」	26
(4) まちに溶け込んだ、まちの魅力を発信する「名所施設」	27
(5) 災害時の拠点となる「防災施設」	28

7. 基本構想作成の経過

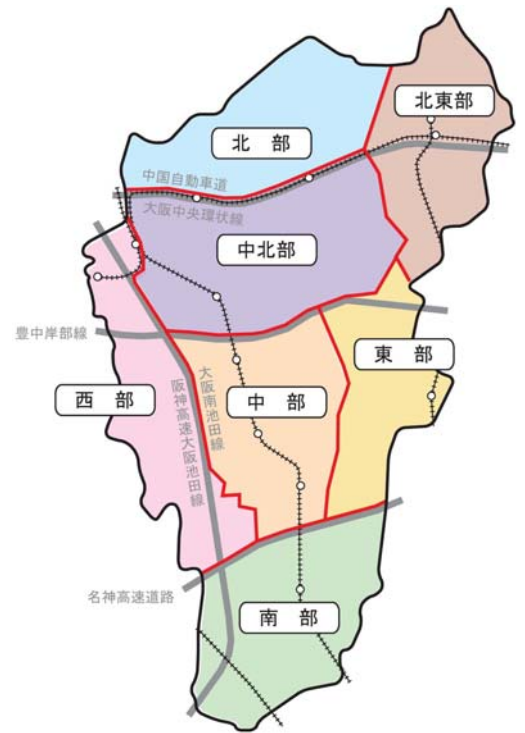
(1) 作成の経過	29
(2) 連携事業	30
(*) 参考文献一覧	39

1. 構想づくりの背景

(1) 立地、人口

① 立地

- 南部地域は、名神高速道路以南で、高度経済成長の時代に、都市基盤施設が未整備のまま急速に木造賃貸住宅や小規模な戸建住宅などが建設されスプロール化した地域で、木造住宅が密集しています。
- 地区内道路やみどりの不足などの住環境面に加えて防災面でも問題を抱え、阪神・淡路大震災では、市内で特に大きな被害のあった地域です。
- また、神崎川に沿った地域や三国塚口線、大阪南池田線の周辺などでは、工業地や住工混在地となっています。
- 庄内駅周辺は、にぎわいのある商業業務地で、野田地区では、多様な住宅の建設が進み、大阪音楽大学や文化ホール、体育館などによる文化的な環境が形成されています。



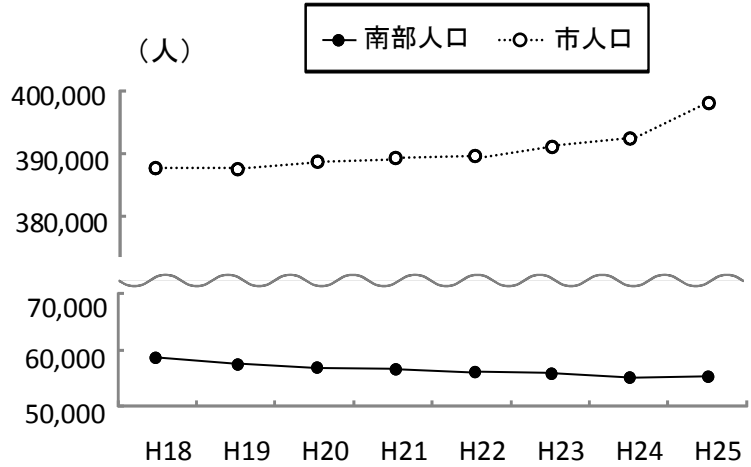
南部地域の位置
(豊中市都市計画マスタープラン(平成23年3月)より)



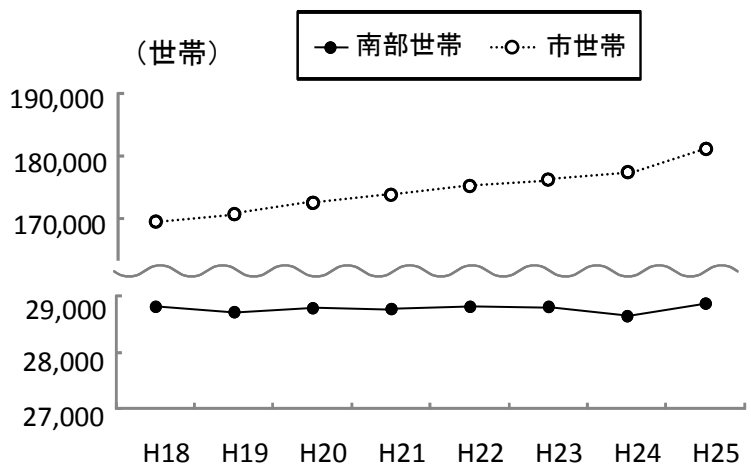
南部地域の土地利用現況(H23年都市計画マスタープランより)

② 人口減少

- 人口は、市全体で横ばい、あるいはやや増加していますが、南部地域では、平成7年から減少しつづけています。
- 南部地域の世帯数は、横ばいですが、世帯あたりの人口は、平成22年時点では、2.0人/世帯を割り込み、市全体より大きく下回っています。



人口推移(豊中市住民基本台帳(各年3月末現在))



世帯推移(豊中市住民基本台帳(各年3月末現在))

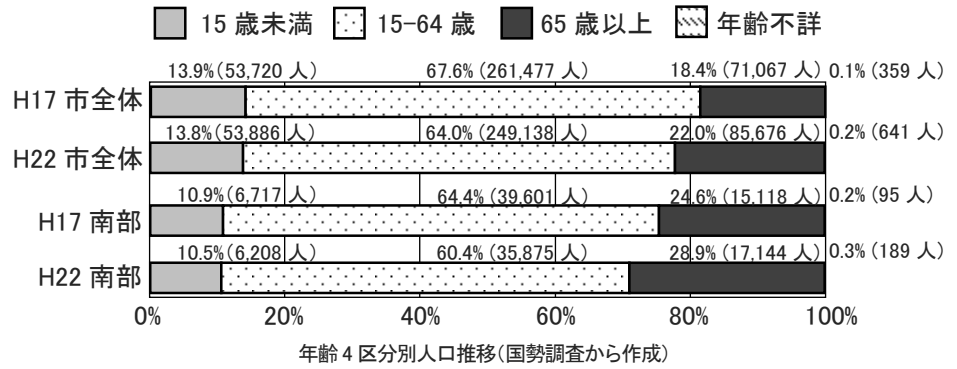
豊中市南部地域小学校区別人口、世帯数推移

南部地域 小学校区別 人口、世帯数	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年		
	人口	世帯	世帯 人口	人口	世帯	世帯 人口	人口	世帯	世帯 人口	人口	世帯	世帯 人口
豊南 小学校区	7,996	3,566	2.24	7,271	3,490	2.08	6,900	3,434	2.01	6,382	3,243	1.97
庄内 小学校区	10,664	5,110	2.09	9,930	4,991	1.99	9,079	4,734	1.92	8,486	4,610	1.84
庄内南 小学校区	9,931	3,771	2.63	9,361	3,902	2.40	8,547	3,863	2.21	7,941	3,823	2.08
庄内西 小学校区	8,116	3,260	2.49	7,665	3,385	2.26	7,209	3,385	2.13	6,935	3,425	2.02
野田 小学校区	10,884	5,617	1.94	9,958	5,376	1.85	9,985	5,557	1.80	9,702	5,556	1.75
島田 小学校区	8,580	3,588	2.39	7,915	3,571	2.22	7,394	3,575	2.07	7,047	3,538	1.99
千成 小学校区	5,800	2,379	2.44	7,003	3,036	2.31	6,735	2,958	2.28	7,027	3,283	2.14
高川 小学校区	7,679	3,170	2.42	7,309	3,237	2.26	6,829	3,216	2.12	6,442	3,152	2.04
南部地域	69,650	30,461	2.29	66,412	30,988	2.14	62,678	30,722	2.04	59,962	30,630	1.96
豊中市	398,908	150,527	2.65	391,726	158,691	2.47	386,623	160,974	2.40	389,341	166,540	2.34
大阪府	8,797,268	3,270,397	2.69	8,805,081	3,454,840	2.55	8,817,166	3,590,593	2.46	8,862,896	3,832,319	2.31
全国	125,570,246	43,899,923	2.86	126,925,843	46,782,383	2.71	127,767,994	49,062,530	2.60	128,056,026	51,951,513	2.46

* 国勢調査から作成、各小学校区世帯数については豊中市住民基本台帳と外国人登録を合算して作成(各年12月末現在)

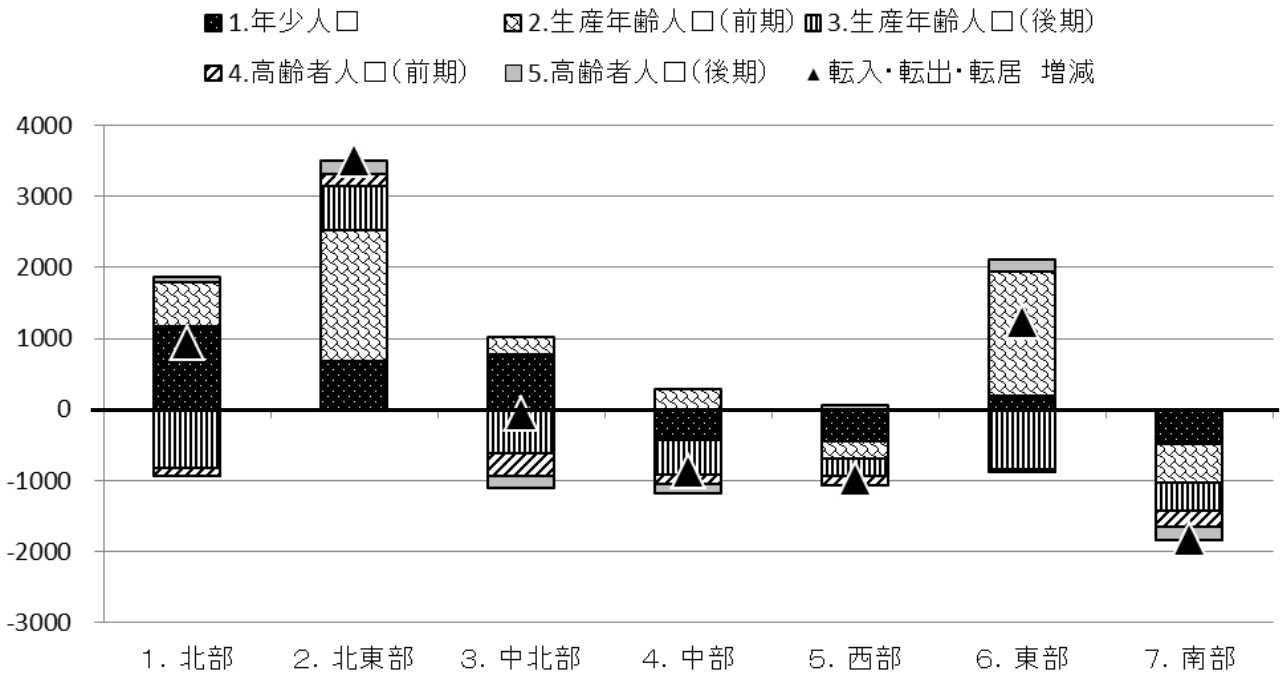
③ 少子高齢化

- 15歳未満の人口割合は市全体と比べて低く、65歳以上の人口割合は高くなっています。特に、65歳以上の割合は増加しつづけています。



④ 若年層の流出

- 下の図は、市内各地域で、各年代別の転出・転入・転居による増減を示したものです。他の地域では、流入が流出より多かったり、年代ごとに傾向が大きく異なったりしていますが、南部地域では、各年代とも流出しています。特に、年少人口(0~14歳)、生産年齢人口(15~64歳)が転出しています。



年齢層別地域区分別転入・転出・転居の増減(H17~23年度)
 (少子高齢化における人口の変化と市政への影響に関する調査研究/とよなか都市創造研究所)

(2) 暮らし

① 下町の庶民的な暮らし

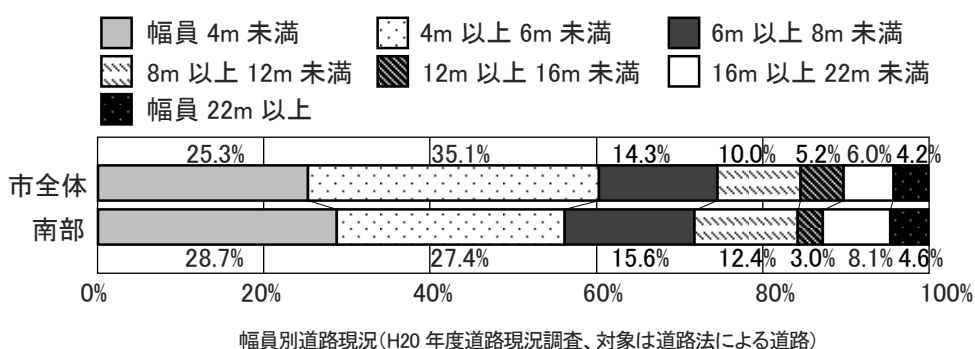
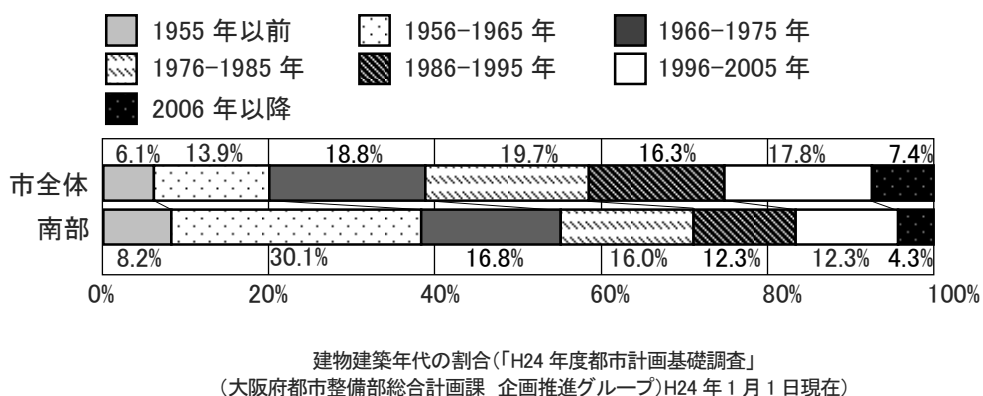
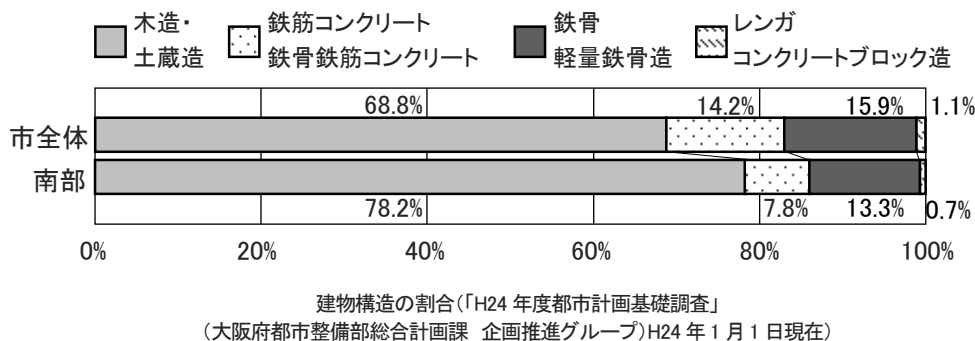
- 南部地域は、住、工、商の土地利用が混在していることが特徴です。
- 身近に店舗やまち工場があることで、気さくで庶民的な下町の暮らしがあります。豊南市場に見られるような下町の“活気”“親しみ”“にぎわい”があり、庶民的で“住みやすいまち”という印象があります。



住工商が混在する南部地域

② 古くなった木造住宅の密集

- 南部地域は、高度経済成長期に、低地部の田畑や湿地帯に道路などが未整備のまま急速に木造賃貸住宅や小規模な戸建住宅などが建設され、小規模の古くなった木造住宅が、狭い道路のつづくところに密集しています。このため、道路や公園、緑道などの地区施設の整備や住宅の共同・協調建て替えを促進し、安全性の高い、便利で快適な都市居住地としての充実を図ります。
- 阪神・淡路大震災では、市内で特に大きな被害のあった地域で、防災面での課題を抱えています。災害に強いまちづくりに向け、住宅の建て替えなど土地利用の更新に合わせて、避難しやすい道路空間の確保できるようつとめるとともに、住民自らが建物の耐震性を確保するための支援を行っています。



③ 生活保護受給者の割合が増加

- 豊中市では、全国的な傾向と同様に、生活保護受給者の割合が増加しています。なかでも、南部地域は、受給者の割合が高く、リーマンショック以降、失業者が急増したため、さまざまな就労支援の取り組みを強化しています。

④ 不安定な就労者の増加、多様化

- 1990年代後半以降の長期にわたる景気後退、産業構造の転換などに伴い、雇用失業情勢が悪化するとともに、企業の人材マネジメントの変化、労働者の価値観の多様化などによって、正社員中心の働き方から、パート、派遣、契約社員といった多様な就業形態の増加が目立っています。
- また、少子高齢化によって、相対的に若年労働者の希少性が高まるなかで、若者の中で失業者・無業者・非正規労働者の占める割合が大きくなっています。
- 南部地域では労働者相談・福祉、就労支援の拠点として労働会館が設置されています。また、近年は障害者・ひとり親・高齢者など就労困難者やニート・引きこもりなど若者の就労・生活支援を目的とした市民団体などが活動の拠点を移してきています。

⑤ 福祉ニーズ等の多様化

- 近年の少子高齢化の急速な進展、格差の拡大、地域コミュニティとの関わりの希薄化などにより、地域福祉を取りまく社会環境は大きく変化し、介護、障害、貧困、DV、不登校、いじめ、孤立した育児問題や育児不安など、生活ニーズ、福祉ニーズ、教育ニーズが多様化しています。このため、地域福祉に関わる市民、各種団体、事業者などが課題の共有化を図りながら相互連携に努め、セーフティネットの充実や地域福祉の推進ができるよう支援が必要です。

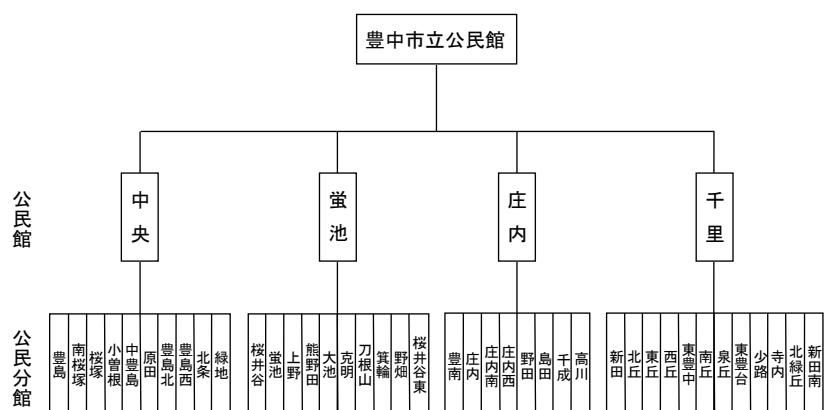
(3) 教育、子育て

① 学校、園

- 南部地域には、幼稚園6園（市立1園、私立5園）、小学校8校、中学校4校、短期大学1校、大学1校が立地し、高校はありません。

② 公民館及び公民分館

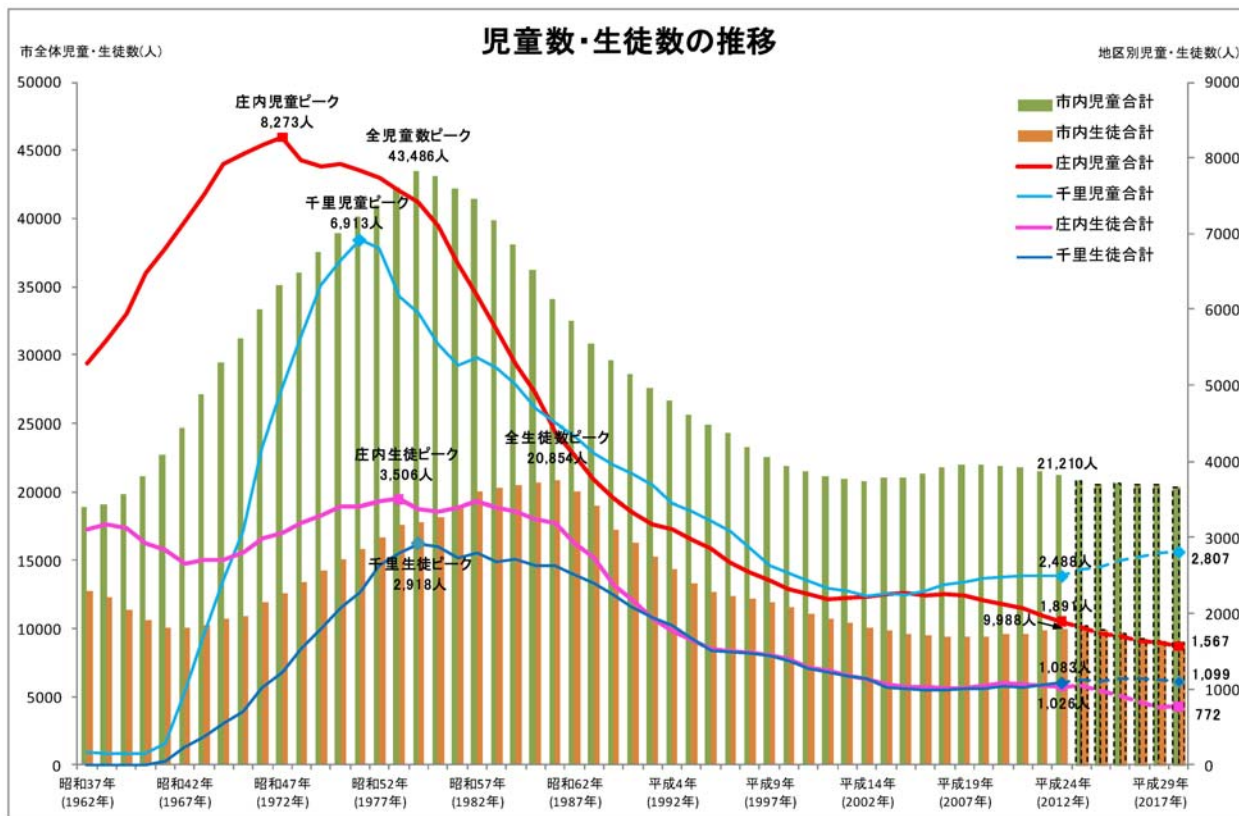
- 庄内公民館では、市民が互いに交流しながら生涯学習を継続的に行う拠点として、春、秋を中心に講座、講演会を開催するほか、市民の自主的なグループ活動を支援しています。
- 市内全41小学校区に公民分館が設置されており、地域に根ざした市民の身近な社会教育機関として、教育的、自治的、福祉的活動の中核となっています。庄内公民館では、南部ブロックの豊南、庄内、庄内南、庄内西、野田、島田、千成、高川の8公民分館に対して、情報提供などの支援を行っています。



豊中市立公民館組織図

③ 小・中学校の小規模化

- 全国的に少子化が進む中、豊中市でも児童数は昭和 54 年(1979 年)を、また生徒数は昭和 61 年(1986 年)をピークにそれぞれ半減していますが、平成 18 年(2006 年)以降は減少傾向に歯止めがかかり、児童数、生徒数ともに横ばいとなっています。
- 豊中市内でも、地区によって児童数、生徒数の推移は異なり、千里地区では増加傾向にあるのに対して、南部地域(庄内地域)では児童数、生徒数ともに減少の一途を辿っています。



豊中市における児童・生徒数の推移

* 庄内児童合計は庄内小学校、庄内南小学校、庄内西小学校、野田小学校、島田小学校、千成小学校の 6 校、千里児童合計は北丘小学校、東丘小学校、西丘小学校、南丘小学校、新田小学校、新田南小学校の 6 校の児童数合計を、また庄内生徒合計は第六中学校、第七中学校、第十中学校の 3 校、千里生徒合計は第八中学校、第九中学校の 2 校の生徒数合計をあらわします。点線は推計値をあらわします。

- 南部地域の小学校の児童数、学級数の現状と推計は以下のとおりで、多くの学校でクラス替えのできない学年が発生するおそれがあります。

	平成 25 年度 (2013 年度)	平成 26 年度 (2014 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
庄内小学校	246 人 10 学級	242 人 9 学級	229 人 8 学級	209 人 7 学級	207 人 8 学級	185 人 7 学級	188 人 8 学級
庄内南小学校	274 人 11 学級	269 人 10 学級	253 人 10 学級	252 人 10 学級	244 人 9 学級	233 人 8 学級	217 人 7 学級
庄内西小学校	250 人 10 学級	244 人 9 学級	252 人 10 学級	238 人 9 学級	222 人 8 学級	220 人 8 学級	217 人 8 学級
野田小学校	416 人 14 学級	377 人 13 学級	366 人 13 学級	349 人 13 学級	351 人 13 学級	349 人 13 学級	305 人 12 学級
島田小学校	260 人 11 学級	257 人 10 学級	242 人 10 学級	224 人 9 学級	229 人 8 学級	227 人 9 学級	224 人 9 学級
千成小学校	364 人 12 学級	348 人 12 学級	352 人 12 学級	350 人 12 学級	339 人 12 学級	325 人 12 学級	317 人 12 学級
豊南小学校	252 人 11 学級	251 人 10 学級	252 人 9 学級	254 人 10 学級	261 人 10 学級	255 人 10 学級	249 人 10 学級
高川小学校	270 人 11 学級	255 人 8 学級	254 人 8 学級	256 人 9 学級	262 人 10 学級	271 人 11 学級	276 人 11 学級

南部地域の児童数、通常学級数の現状と推計

* 上段は児童数、下段は通常学級数、平成 25 年度(2013 年度)は実数、平成 26 年度(2014 年度)以降は推計値。

- また、南部地域の中学校の生徒数、学級数の現状と推計は以下のとおりで、いずれの学校も減少傾向にあります。特に第十中学校の小規模化が懸念されます。

	平成 25 年度 (2013 年度)	平成 26 年度 (2014 年度)	平成 27 年度 (2015 年度)	平成 28 年度 (2016 年度)	平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)
第六中学校	369 人	348 人	315 人	306 人	287 人	293 人	284 人
	11 学級	10 学級	9 学級	9 学級	9 学級	9 学級	9 学級
第七中学校	362 人	356 人	357 人	339 人	323 人	315 人	293 人
	10 学級	10 学級	9 学級	9 学級	9 学級	9 学級	9 学級
第十中学校	276 人	263 人	250 人	234 人	210 人	197 人	213 人
	9 学級	9 学級	8 学級	7 学級	6 学級	6 学級	7 学級
第十二中学校	490 人	479 人	450 人	410 人	375 人	380 人	382 人
	14 学級	12 学級	12 学級	12 学級	12 学級	12 学級	12 学級

南部地域の生徒数、通常学級数の現状と推計

* 上段は生徒数、下段は通常学級数、平成 25 年度(2013 年度)は実数、平成 26 年度(2014 年度)以降は推計値。

④ 小学校から中学校への分割校、調整区域の存在

- 庄内南小学校、島田小学校、千成小学校の 3 小学校が、1 つの小学校から 2 つの中学校に分かれて進学する「分割校」であり、小・中学校の連携や小中一貫教育の推進にあたっての課題となっています。
- 稲津町 1～3 丁目は一定の条件下で指定校の変更が認められる調整区域ですが、子どもたちの人間関係や地域コミュニティを形成するうえでの課題となっています。

⑤ 生活課題を抱える家庭の子どもの教育問題

- 南部地域は市内の他地域と比べて、生活面で課題を抱える家庭や、学力面で課題のある子どもが多くなっています。更には、乳幼児期や青少年期の子どもたちをとりまく日常生活、家庭・教育環境などは、自身の将来のみならず、次世代の自分の子どもたちの人生や生活の営みにも密接に関連し、つながっていくことが推測されます。
- このような課題を改善、解消するために、幼稚園、保育所、学校や家庭にとどまらず、地域社会を構成する市民、各種団体などが、子どもたちの見守りや学習指導に携わるような取り組みが必要です。



⑥ 不登校、中退

- 南部地域では、不登校児童、生徒の課題が多く、児童生徒支援加配教員が市内の他の地区よりも多く加配されています。低学年の場合、朝、子どもを学校に出す「力」が弱いことなどが課題となっています。
- 高校中退、未就学、進路変更などの課題がある生徒に対しては、教育委員会と福祉事務所が連携した、寄り添い型学習・生活支援事業などによる支援が実施されています。

⑦ 食生活を含めた子どもの生活習慣の状況

- 子どもたちが、学力の向上をはじめ健全な成長を遂げていくためには、学校生活の充実はもとより、家庭において、学習習慣の定着、食生活を含めた規則正しい生活習慣の確立、家庭や地域での人間関係の形成など、日常生活の充実を図ることが重要です。
- 平成 19 年度(2007 年度)から 3 ヶ年にわたって国において実施された「全国学力・学習状況調査」の質問紙調査では、本市の傾向として、規則正しい生活をしていない、起きる時刻が遅く、寝る時刻も遅い、学校の授業を復習することが少ない、地域とのつながりが弱いといった傾向も見受けられます。

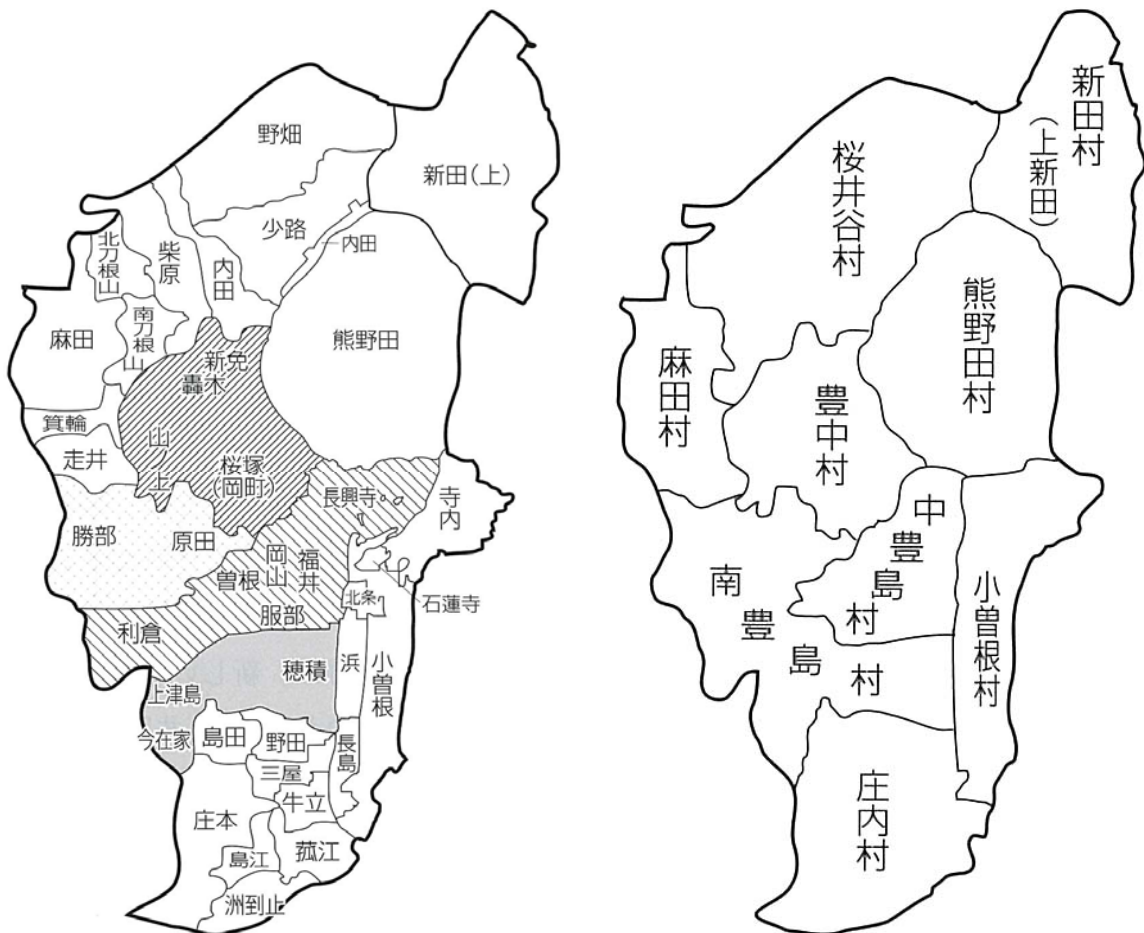
- 子どもたちの健全な発達を確保していくため、南部地域でも同様に、家庭の役割についての啓発をはじめ、家庭教育の支援を進めるとともに、放課後などに子どもたちが安心して遊んだり、学習したり、さまざまな交流活動ができる場の充実など、家庭や地域の教育力の向上に向けた取り組みを進めていくことが求められます。



(4) 文化、活力

① 歴史資源

- 南部地域の暮らしの歴史は、2000年以上前の弥生時代から始まったと考えられています。庄内遺跡、島田遺跡、庄本遺跡などの発掘調査を通じて、昔の暮らしや文化の一端が明らかになりつつあります。
- 明治22年（1889年）の町村制施行により「野田村」「三屋（さんや）村」「牛立村」「菰江（こもえ）村」「島田村」「島江村」「庄本村」「洲到止（すどうし）村」の8ヶ村が合併し、豊能郡庄内村が成立しました。
- 能勢街道に沿う農村地帯に形成された豊能郡庄内村は、昭和14年（1939年）9月に町村制施行し同郡庄内町となり、更に昭和30年（1955年）1月1日、庄内町が豊中市に編入されて現在に至ります。
- 昭和に入り、能勢街道と並行に国道176号線が整備され、その後、昭和23年（1948年）には商業の中心である豊南市場が、昭和26年（1951年）には交通の中心である阪急宝塚線の庄内駅がそれぞれ開設されました。南部地域は、大都市大阪に近く工業用水を得やすい水利環境にあったため、工場が集積するとともに、宅地開発が進み、一時は10万人を超える人口に達しました。
- 昭和9年（1934年）頃に出土した、弥生時代から古墳時代へ移行する過程の特徴をもつ庄内式土器、大正元年（1912年）に庄本、三屋を除く各大字にあった神社を一ヶ所に集めて建立された庄内神社、創建の年代は不詳ですが、古くから庄本に鎮座する棕橋（くらはし）総社などが、主な歴史的財産です。



明治10年当時の区画(左)、町村制施行当時(明治22年)の区画(右)(新修豊中市史)

② 商店街のにぎわい

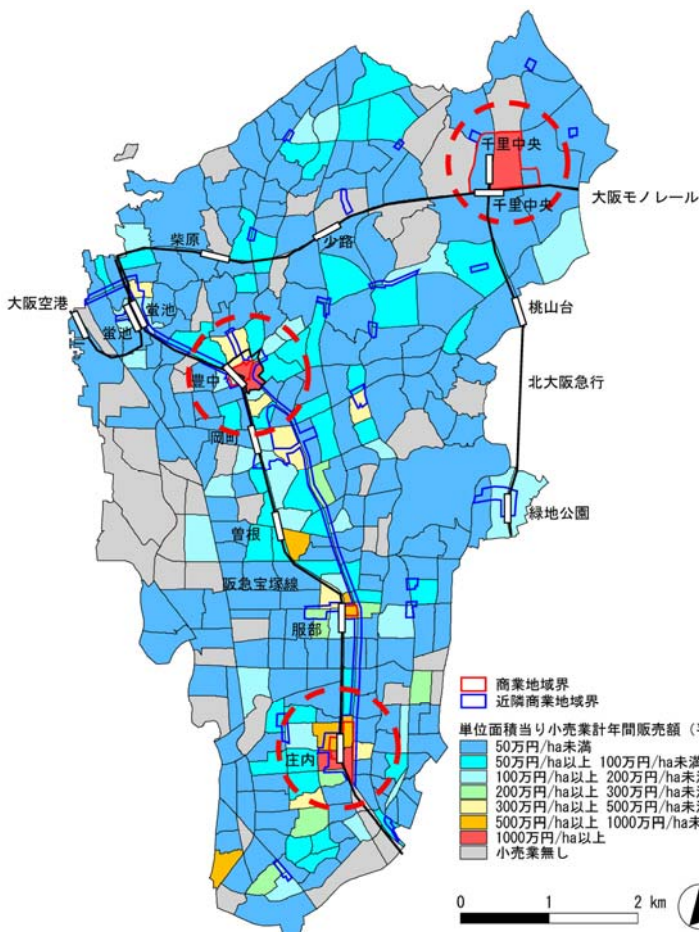
- 豊中市には3大商業集積地があり、町丁目ごとの売り場面積占有割合でみると、庄内駅周辺は、千里中央地区、豊中駅前地区をしのぐ最大の集積地となっています。販売額でみるとヘクタールあたりの販売額が他の2大集積地と並んで1000万円以上となっています。
- 他の2大集積地と異なる点は、小規模で多数の事業所が集積しているところで、豊南市場に代表される下町のにぎわい感があります。



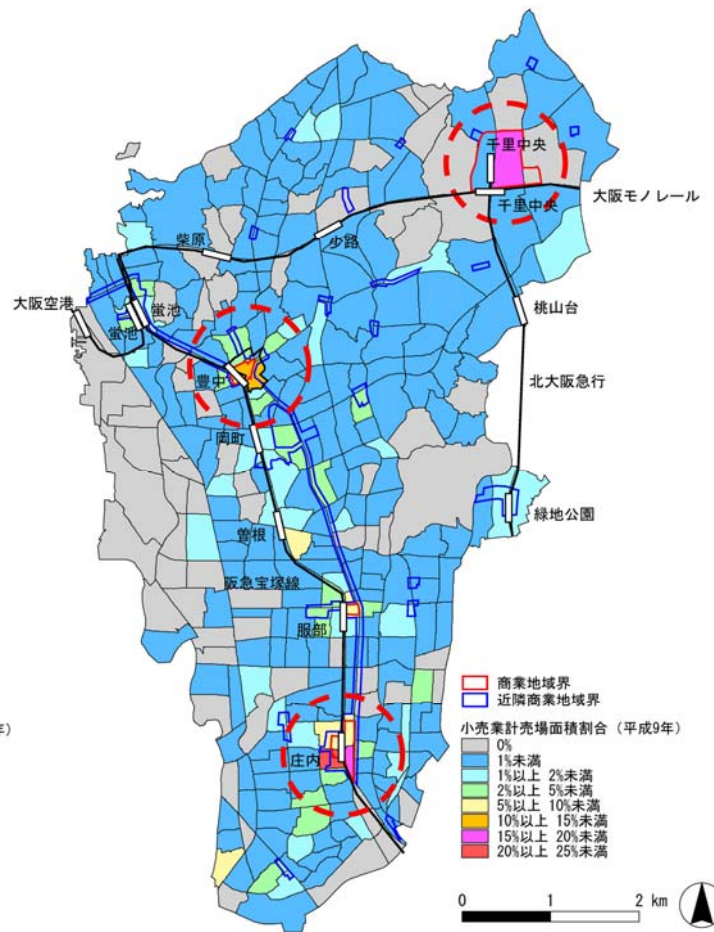
豊南市場



庄内WEST



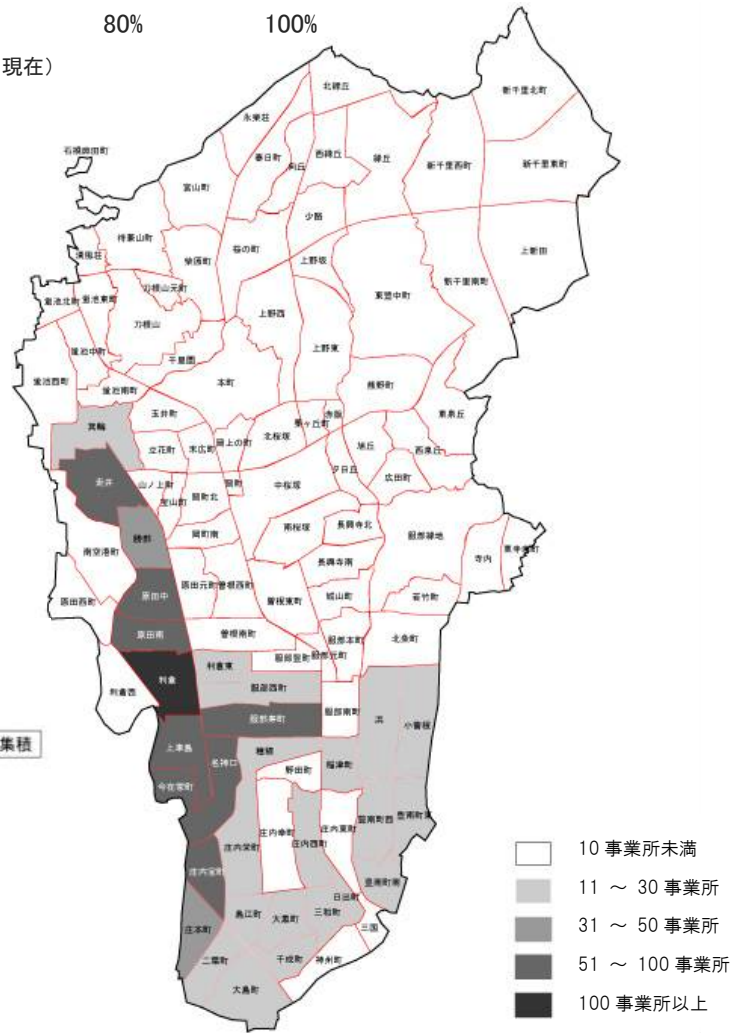
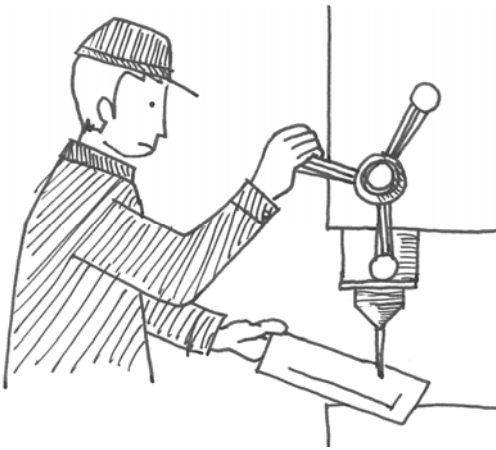
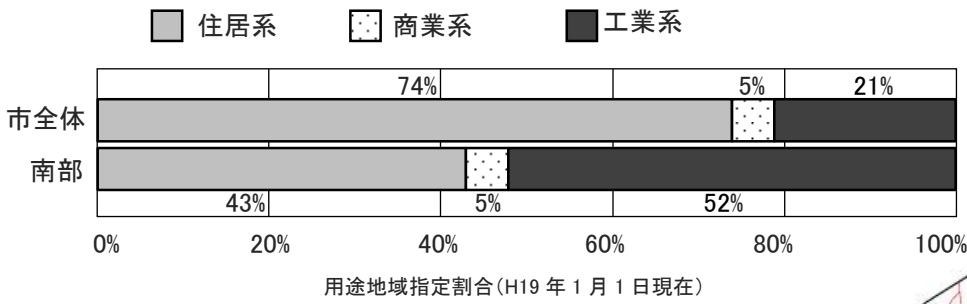
小売業計売場面積割合（平成9年）
（商業統計調査の小売業計売場面積から町丁目ごとに1ha当りの販売額を算出）



面積当り小売業計年間販売額（平成9年）
（商業統計調査の小売業計年間販売額から町丁目ごとに1ha当りの販売額を算出）

③ ものづくり企業の集積

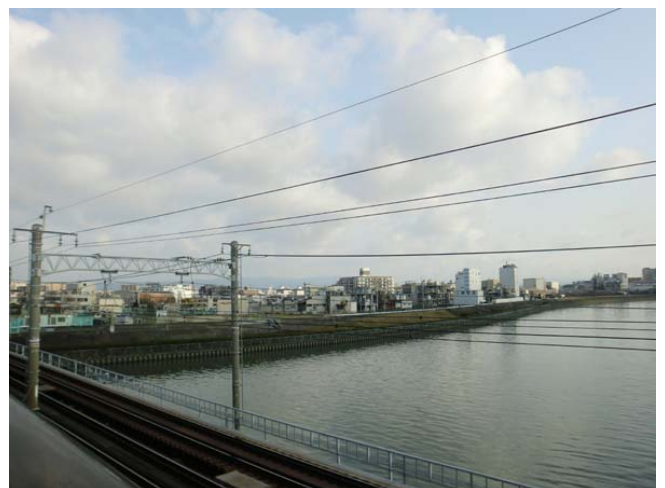
- 南部地域は、工業系土地利用の割合が高く、空港周辺から神崎川沿いにかけての市域南西部に機械、化学、食品、薬品などの製造業が集積しています。



町別・製造業事業所分布
(H18年度、H24豊中市産業状況調査報告書より)



豊中市内の主な産業集積
(H24豊中市産業状況調査報告書より)



神崎川沿いの工場

④ 大阪音楽大学・短期大学

- 大正4年（1915年）に「新音楽新歌劇ノ発生地タラン」として、大阪音楽学校が創立されました。その理念を脈々と受け継いで、今では大学・短期大学・大学院を擁した関西唯一の音楽単科大学として延べ3万3千人を超す音楽人を世界へ送り出しています。
- 大学・短期大学での音楽教育にとどまらず、大学生による学校園への授業支援や出張演奏など「サウンドスクール」の取り組みや、地域と連携した「まちかどコンサート」の取り組みなどが行われています。



庄内バルでの演奏



大阪音楽大学・短期大学 オペラハウス

⑤ 下町らしい豊かな文化

- ご近所の密なおつきあいなどの長屋文化、庄内神社や棕橋（くらはし）総社の秋祭り、商店街による夏の庄内祭りなど、下町らしい豊かな文化があります。



棕橋総社秋祭り



庄内神社秋祭り



庄内祭り

(5) 公共施設

① 公共施設の立地状況

- 南部地域には、8つの小学校、4つの中学校をはじめ、以下のとおり、公共施設、大学などが立地しています。

小学校	豊南小学校	保育所・幼稚園（市立）	せんなり幼稚園	その他	官公署等
	庄内小学校		豊南保育所（子育て支援センター）		豊中南警察署
	庄内南小学校		庄内保育所		豊中南消防署
	庄内西小学校		野田保育所（子育て支援センター）		労働会館
	野田小学校		栄町保育所（子育て支援センター）		庄内出張所
	島田小学校		庄内西保育所		健康福祉施設
	千成小学校		島田保育所（子育て支援センター）		庄内老人福祉センター
	高川小学校		高川保育所		庄内保健センター
中学校	第六中学校	図書館	庄内図書館	庄本老人デイサービスセンター	
	第七中学校		庄内幸町図書館	高川老人デイサービスセンター	
	第十中学校		高川図書館	体育施設	
	第十二中学校	大学等	大阪音楽大学	庄内体育館	
	大阪音楽短期大学		高川スポーツルーム		
			教育・文化施設	庄内公民館	
				庄内少年文化館	
				ローズ文化ホール	
				庄内コミュニティプラザ	

南部地域の公共施設等

施設名	延床面積（*）	開設年
図書館		
庄内図書館	882.16 m ²	昭和50年（1975年）
庄内幸町図書館	484.59 m ²	平成5年（1993年）
高川図書館	1,257.90 m ²	平成12年（2000年）
官公署等		
労働会館	1,256.87 m ²	昭和38年（1963年）
庄内出張所	828.01 m ²	昭和47年（1972年）
健康福祉施設		
庄内老人福祉センター	934.99 m ²	昭和50年（1975年）
庄内保健センター	1,507.10 m ²	昭和60年（1985年）
庄本老人デイサービスセンター	1,446.65 m ²	平成7年（1995年）
高川老人デイサービスセンター	1,742.90 m ²	平成12年（2000年）
体育施設		
庄内体育館	6,571.37 m ²	平成元年（1989年）
高川スポーツルーム	596.30 m ²	平成12年（2000年）
教育・文化施設		
庄内公民館	1,360.82 m ²	昭和50年（1975年）
庄内少年文化館	1,857.429 m ²	平成元年（1989年）
ローズ文化ホール	2,707.90 m ²	平成元年（1989年）
庄内コミュニティプラザ	348.00 m ²	平成7年（1995年）

学校等を除く公共施設の状況（教育要覧などから作成）



豊中市南部地域の公共施設等の分布

2. (仮称)南部コラボセンター実現に向けた5つの基本方針とビジョン

(1) 5つの基本方針

① 地域へのほこりと南部地域のブランド(*)を市民が主体となって創造する

- 南部地域には、歴史資源、ものづくり企業の集積など（P8～P11）地域の特徴となる資源があります。これらの資源は、自らが生活し活動する地域に対する愛着やほこりへとつながります。
- 地域へのほこりが、やがて「住みたいまち」「働きたいまち」「訪れたいまち」づくりにむけて動き出す時に「地域ブランド」を創造する力となります。
- 地域へのほこりと地域ブランドを市民が主体となって創造する取り組みを喚起し、支援し、南部地域内外へ発信します。



(*)地域ブランド / 地域名のついた特産品などのことを指すこともありますが、ここでは、地域イメージを形成する外部からの評価とします

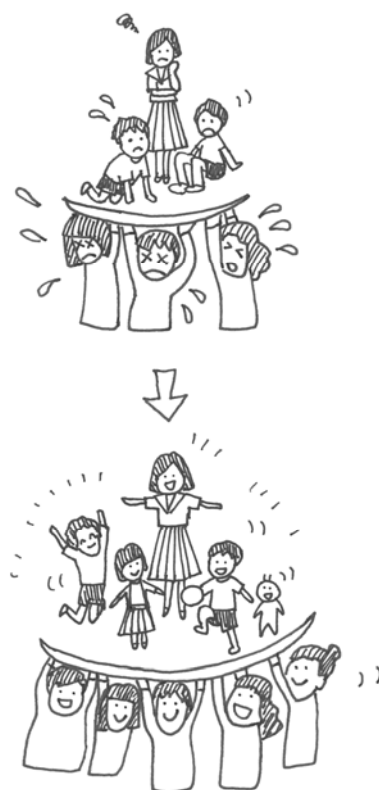
② 生活面の課題を改善し、「いきいきと」「充実した」暮らしと福祉を実現する

- 南部地域には、他地域に比べて育児、教育、就労をはじめ、少子高齢化に伴う介護など、生活面での課題が多く存在します。
- これらの課題改善に向け、南部地域にかかる教育や福祉など関連する施策やネットワークの連携・整備・充実を図り、住民への直接的な支援と、自律した生活に向けた支援を行い、地域住民の「いきいきと」「充実した」暮らしと福祉の実現をめざします。



③ 地域を担う次世代を地域全体で育む

- 「住みたいまち」「働きたいまち」「訪れたいまち」…。持続可能な魅力あるまちづくりには、特に次世代育成のための教育、子育ての充実が必要です。子どもたちは、さまざまな人々との出会いの中で、人間関係を深め、仲間をつくり、人とつながっていきます。また、多様な体験を通じて人として磨かれ、社会の中で自立していきます。子どもの成長には、学校園所、家庭、地域、行政など社会全体で、子どもに関わりあいながら育てていくことが望まれます。
- また、子どもたちや育児中の保護者にとって、気軽に訪れることができ、自ら学習や活動などが行える居場所、多様な出会いのある交流の場が求められています。
- 教育、子育て支援を通じて、地域を担う次世代を南部地域全体で育むしくみづくりに取り組む必要があります。(仮称)南部コラボセンターは、教育、子育て支援の拠点として、地域を担う次世代を南部地域全体で育むしくみづくりに取り組みます。



④ 老朽化し、散在する公共施設やサービスをとりまとめ、市民サービスの拠点を形成する

- こうした現状を改善するために、市有施設の有効活用の観点も踏まえて、複合的な機能を備えた施設を整備し、ワンストップ型の市民サービスの向上を図ります。
- また、市民、事業者、NPO、市との協働によるまちづくりに向けたネットワークの拠点施設としての機能の充実を進めます。

⑤ 地域の教育環境の再編と連動、連携して地域ぐるみの教育に取り組む ～（仮称）南部コラボセンターの機能を補うサテライト機能の設置～

- 南部地域の課題解消に向けて、子どもたちの良好な教育環境の整備、充実を図ることが検討されています。
- 南部地域の活性化に向けた各種取り組みの拠点となる複合施設の整備と合わせて、小中学校などの教育施設や地域のコミュニティの拠点となっている公共施設などにサテライト機能を設置することで、ネットワークを形成し、地域ぐるみで教育環境の向上を進めます。

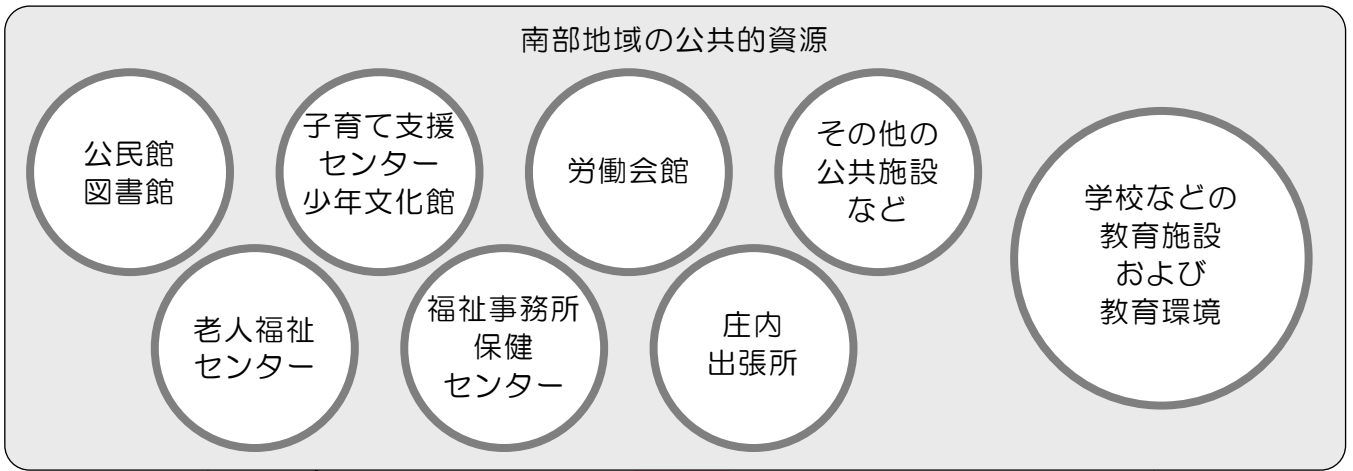
(2) （仮称）南部コラボセンタービジョン

- （仮称）南部コラボセンターは、5つの基本方針のもと、南部地域活性化の拠点として機能する施設です。
- 本構想の特徴は、地域全体の公共施設の再編と教育環境の再編を並行して行い、地域のきめ細かなネットワークと地域外や多様な事業者ともつながる大きなネットワーク、すなわち、「（仮称）南部コラボセンターネットワーク」を形成し、拠点施設として（仮称）南部コラボセンターを位置づけていることにあります。

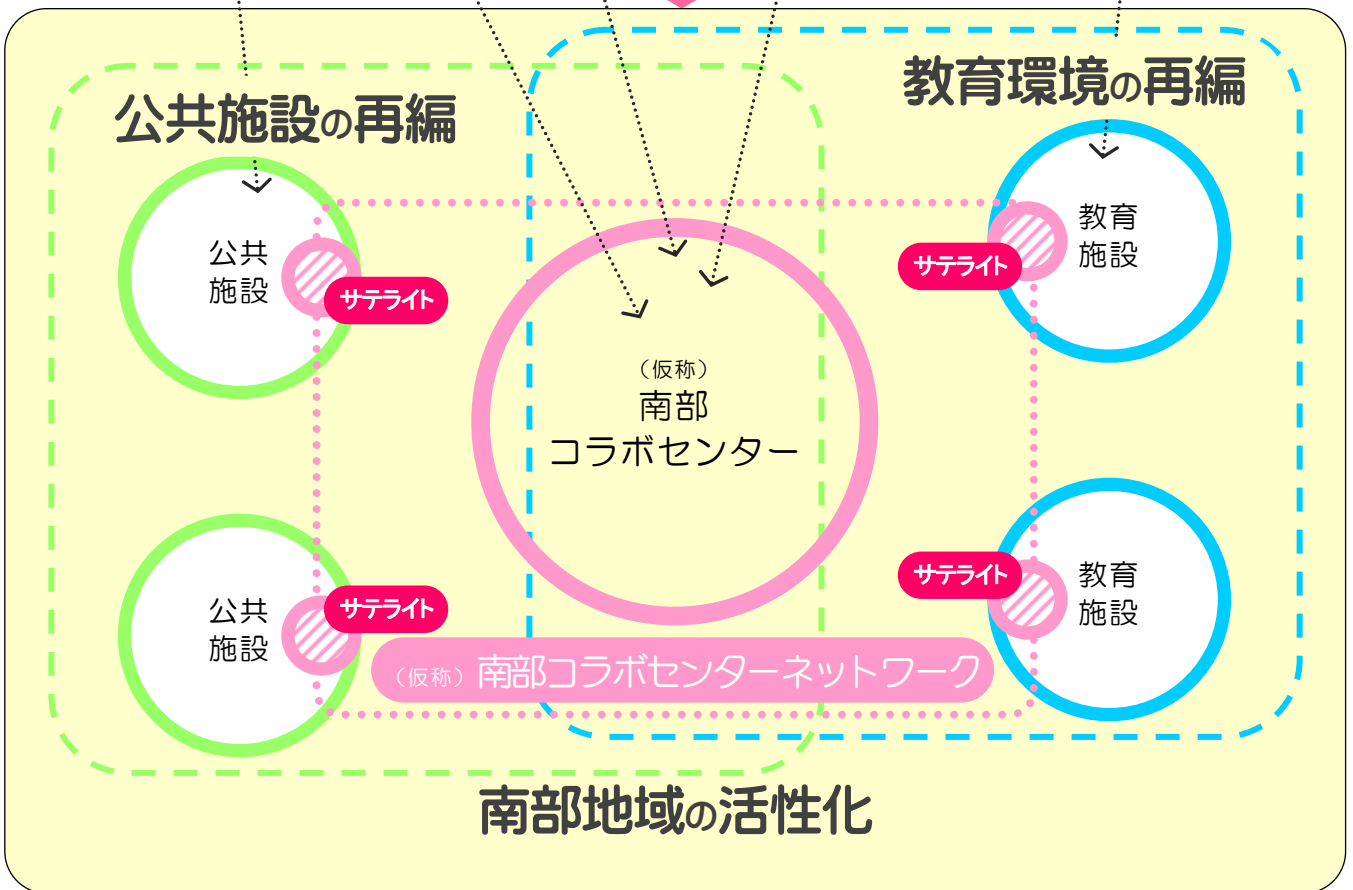


- めざしているのは、広域かつ多様な歴史・文化を有する地域が、多様なしくみや事業によってつながり、南部地域が元気になるとともに、地域を担う子どもたちが夢や希望を持てるようになることです。そこで、基本構想を広く南部地域の市民で共有し、具体化していくためのキャッチフレーズとなる（仮称）南部コラボセンタービジョンは、以下のとおり「子どもに夢を！地域に輝きを！南部地域がまとまる、つながる、元気になる。」とします。

子どもに夢を！ 地域に輝きを！
南部地域がまとまる、つながる、元気になる。



子どもに夢を！ 地域に輝きを！
南部地域がまとまる、つながる、元気になる。



市民・事業者・豊中市の多様な連携と協働

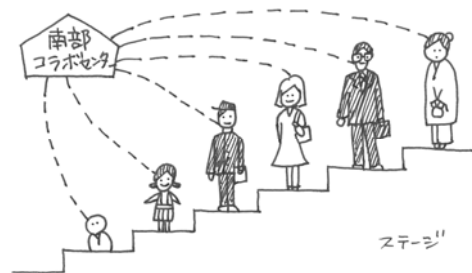
* (仮称) 南部コラボセンターネットワークとは、(仮称) 南部コラボセンターを拠点に、小中学校などの教育施設や公共施設などにサテライトを設置し、行政、地域団体、事業者などが連携して、南部地域全体の活性化に取り組む大きなしくみです。

3. (仮称)南部コラボセンターに求められる機能

(1) 生活、学習等支援拠点機能

① 世代、ライフステージごとの課題への支援拠点

- 出生から乳幼児期、就学期、就労、その後の人生の各段階における、多様化する生活・福祉課題に、行政のみならず、地域、事業者、NPO などとのネットワークやサテライトとの連携のもと対処する拠点とします。



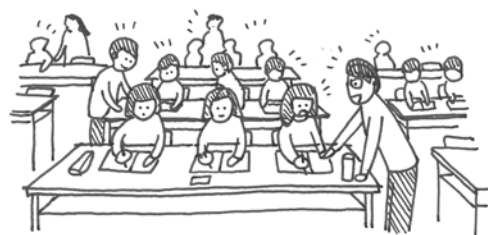
② 生活ニーズ、福祉ニーズに応じた支援拠点

- 少子高齢化の急速な進展など社会環境が変化するなか、認知症、障害、貧困、DV、子どもの不登校、いじめなど多様化する生活ニーズ、福祉ニーズ、教育ニーズ、多国籍化に伴うニーズに応じた支援拠点とします。



③ 学校等の後方支援拠点

- 南部地域の人々の学びを支援するため、施設内に学習環境を整備するとともに、サテライトを設置する小中学校や公共施設などで取り組む学力向上に向けた支援事業を後方支援する拠点とします。
- 学校や地域で、生き方を学ぶキャリア教育^(*)や豊かな人間性を育む体験的学習などが実践できるよう、地域で活躍する企業や商店などの協力を得て、子どもの実践的な社会学習を支援します。



(*)キャリア教育／児童・生徒一人ひとりに勤労観や職業観を育み、主体的に進路を選択し、社会人として自立できる力をつける教育。

④ 家庭・地域の教育力向上への支援拠点

- 南部地域の人々が学習をとおして得た知識や成果を地域活動や子どもたちの教育に活かされるように、学習成果を活用できる場や機会を創出し、生涯にわたって学びをつなぐしくみづくりを進めることで、家庭・地域の教育力向上を支援します。



(2) 交流拠点機能

① さまざまな住民の出会い、つながり、交流の拠点

- さまざまな人たちが共に生き、共に支えあう南部地域となることをめざし、誰もが気軽に訪れることのできる多文化共生の拠点とします。
- オープンな雰囲気をもった施設として、気軽に立ち寄りたくなり、楽しく過ごすことのできる、広場や公園のような交流拠点をめざします。



② 住民の自主活動や地域活動を通じた、楽しみやいきがづくりの拠点

- 市民の多様な学習意欲に対応し、生涯を通じて学ぶことのできる機会を提供するとともに、南部地域に関わる市民やグループの活動の拠点とします。さまざまな人たちが集い、出会い、つながるなかで、住民の楽しみや生きがいを支援します。



③ 子どもの居場所、交流拠点

- 0歳児から就労前までの子どもと保護者がいつでも、気軽に訪れることのできる楽しい場を設け、子どもたちの主体性を育みます。子どもたちにとって、いつでも戻って来たり、立ち寄ることのできる居場所として、継続的に子どもやその家庭とのつながりをもつしくみをつくります。
- 学校や家庭以外の場で、子どもたちが夢中になれるように、自習や趣味に打ち込む場を設け、職業の基礎知識や技術が習得できるよう支援します。特に、中高校生世代が人生の進路について、気づきを得ることができるよう支援します。
- 不登校、引きこもりなど日常生活の中で居場所の確保に問題を抱える子どもの居場所をもうけ、社会とのつながりづくりを支援します。



(3) 地域ブランド創造拠点機能

① 主体的な住民活動、地域活動により地域へのほこりを形成する拠点

- 自治会や公民分館、校区福祉委員会活動をはじめとした、地域住民主体のまちづくり、教育、福祉活動を支援します。魅力あるまちづくりに向けた地域住民活動の活性化を図ることで、地域住民自らの地域へのほこりや愛着の気持ちが育まれるようつとめます。
- また、南部地域内外へ情報発信することで、南部地域らしい暮らしが地域ブランドとして育まれるよう進めます。



② 歴史、生活文化、商業、ものづくりの資源を生かした南部地域のブランドを創造、発信する拠点

- 豊富な地域資源を活かしたその資源にちなんだ講演会や講習会、まちあるきやコンサートなどのイベントを通じて、南部地域内外へ魅力を発信します。
- また、地域資源が南部地域のブランドとして定着できるよう、イベントや企画会議などの組織づくりの立ち上げや運営を支援するとともに、商業やものづくりの活性化に取り組む支援のあり方についても検討できる場や拠点とします。
- 大阪音楽大学・短期大学との連携のもと、暮らしに、まちに、学びに、音楽が感じられる「音楽のまち」をめざします。



(4) 市民活動コーディネート機能

① 多様な地域活動、市民活動を育み、つなげるための、相談やコーディネートの拠点

- (仮称)南部コラボセンターは、地域がつながるために、地域活性化、生活や学習支援、多文化共生など、南部地域に関わる市民や団体が集い、横につながる拠点をめざします。



② 市民による支援活動、交流活動、創造活動の具体化、事業化をコーディネートする拠点

- 市民による支援活動や交流活動、創造活動、特に南部地域特有の生活課題や地域課題の解決につながる活動の具体化や事業化を支援します。
- さまざまな市民やグループの相互交流、連携を促進しながら、ともにつくりあげていくことができるような調整機能をもつ拠点をめざします。



(5) 市民サービス拠点機能

① ワンストップで市民サービスを提供する拠点

- そこに行けば何とかなる、新しい気づきや発見がある、楽しみがある。複合施設の特徴を活かして、ワンストップで効率的・効果的に市民サービスを提供する拠点とします。



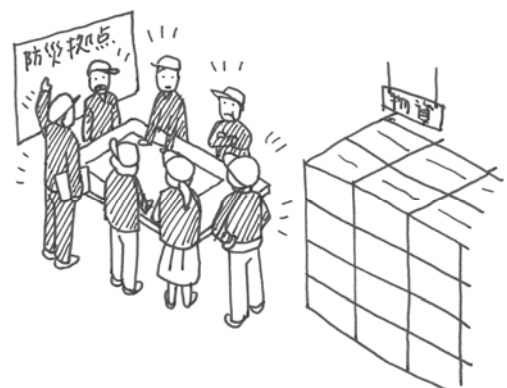
② 地域協働型での市民サービス提供を行う、多様な公的施設、組織間のネットワーク拠点

- 官民に関わらず、南部地域に関わる多様な市民サービスの情報を集め、市民・事業者・行政・NPOなどがお互いに連携しながら、市民サービスを提供するネットワークの拠点とします。



③ 大規模災害時などの防災拠点

- 大規模災害時には、野田中央公園とともに地域の防災拠点として機能する施設とします。



4. (仮称)南部コラボセンターの施設構成と施策

求められる機能と事業イメージ

1. 生活、学習等支援拠点機能

- ① 世代、ライフステージごとの課題への支援拠点
- ② 生活ニーズ、福祉ニーズに応じた支援拠点
- ③ 学校等の後方支援拠点
- ④ 家庭・地域の教育力向上への支援拠点

2. 交流拠点機能

- ① さまざまな住民の出会い、つながり、交流の拠点
- ② 住民の自主活動や地域活動を通じた、楽しみやいきがいつくりの拠点
- ③ 子どもの居場所、交流拠点

3. 地域ブランド創造拠点機能

- ① 主体的な住民活動、地域活動により地域へのほこりを形成する拠点
- ② 歴史、生活文化、商業、ものづくりの資源を生かした南部地域のブランドを創造、発信する拠点

4. 市民活動コーディネート機能

- ① 多様な地域活動、市民活動を育み、つなげるための、相談やコーディネートの拠点
- ② 市民による支援活動、交流活動、創造活動の具体化、事業化をコーディネートする拠点

5. 市民サービス拠点機能

- ① ワンストップで市民サービスを提供する拠点
- ② 地域協働型での市民サービス提供を行う、多様な公的施設、組織間のネットワーク拠点
- ③ 大規模災害時などの防災拠点

● 学力向上に向けた支援事業

● 就労支援事業

● 青少年活動スペース

● 運営会議

● 気軽なフリースペース

● 商業、ものづくりPPR

機能を担う施設

公民館

図書館

高齢者福祉施設

子育て支援拠点

児童館的施設

多文化共生拠点

保健・福祉施設

労働会館

キャリアセンター

市民活動・NPO活動支援

行政出張所

学力向上に向けて地域と学校等が連携した組織の形成・運営

民間教育機関との連携事業

民間生涯学習機関との連携事業

商業、ものづくり企業等の支援

商業者、ものづくり等企業連携事業

学校再編等の検討、幼保小連携・小中一貫教育のさらなる推進

機能を担う新たな施策

(各施設が通常担うものを除く)

登録団体

自治会

校区福祉委員会

公民分館

防犯協議会

民生・児童委員

PTA

こども会

老人クラブ

自主防災組織

各種地域団体等

NPO

地域団体等

サークル

NPO

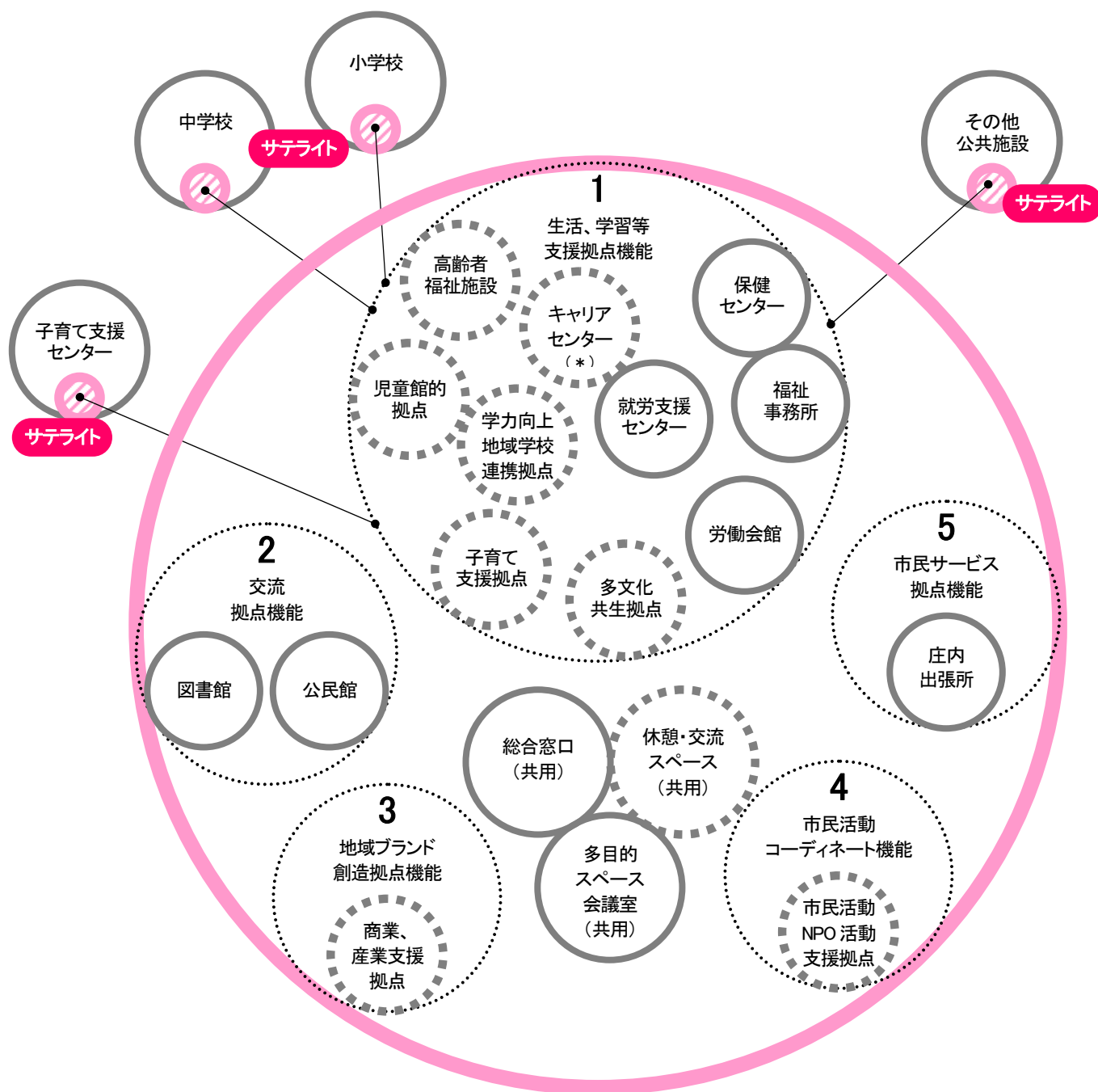
社会的企業

民間教育機関



民間生涯学習機関

業界団体

(1) 求められる機能を担う施設構成



〈仮称〉南部コラボセンターネットワーク

-  既存の施設
-  新たに導入を検討する施設・機能

(*) キャリアセンターとは

就労やキャリアアップに向けた支援事業の拠点。就労支援センターと産業支援拠点機能が連携してキャリアプラン形成支援のための相談事業や資格取得などのセミナー開催のほか、雇用の機会や訓練の場を広げます。また、学校連携拠点機能と連携してキャリア教育にも取り組みます。



(仮称)南部コラボセンター サテライト位置図(案)
 (*)民間施設については順次協議の上位置づけます。

(2) 求められる機能を担う新たな施策

① 南部の子どもを地域全体で支える施策

- 学力向上支援事業を担う組織の形成・運営などを地域、学校、支援者などが連携して行います。また、家庭や地域の教育力向上並びに学校、各種サテライト拠点などのニーズに応じた支援を行うしくみづくりにつとめます。

② いつも人が集い気軽に交流できるにぎわい拠点とするための施策

- いつも、人にあふれ、活気にあふれた、気軽に人が集う拠点とするために、さまざまな主体と連携した人を呼び込むしくみづくりにつとめます。

③ ほこりを高め、ブランドを形成・発信する施策

- 下町文化、商業、ものづくり、音楽などをキーワードに市民や事業者が集い、南部地域の価値を創造できるよう、研究、場づくり、情報受発信などの取り組みを支援するしくみづくりにつとめます。

5. (仮称)南部コラボセンターの担い手と運営のイメージ

(1) (仮称)南部コラボセンターの担い手

- (仮称)南部コラボセンターは、市民、地域団体、NPO、事業者、行政が担い手となり、連携、役割分担のもと運営します。

(2) 運営のイメージ

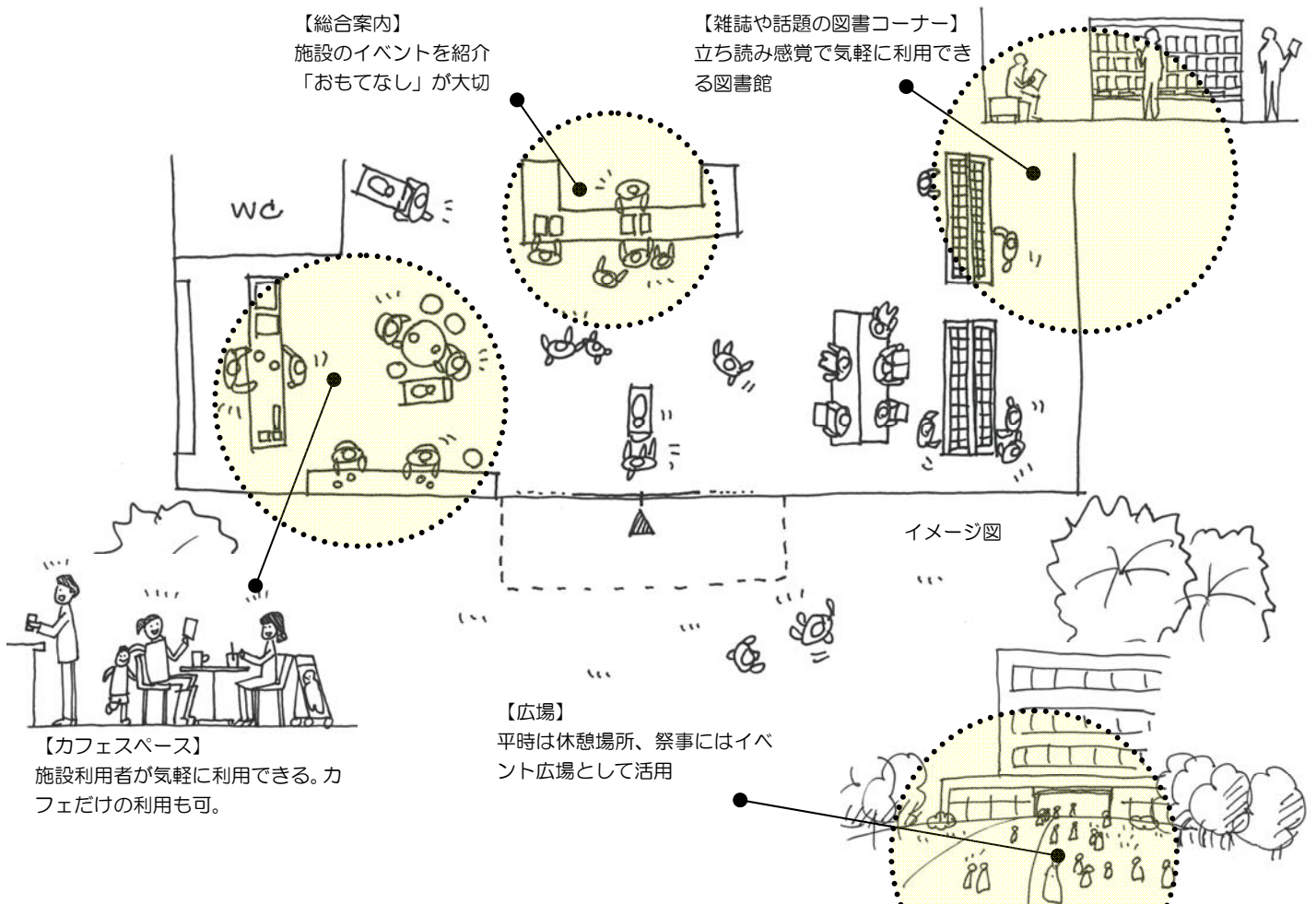
- 全体の運営は、関係者が参画した検討組織で検討、評価し、各機能を担う運営組織が運営する方向で検討を進めます。
- 検討組織と運営組織は、南部地域活性化市民会議などでの検討をふまえ、組織のあり方を検討し、運営組織については、既存の連携の担い手が新たに建設された(仮称)南部コラボセンターで発展的に活動を展開することを念頭に検討します。

6. (仮称)南部コラボセンターの施設イメージ

(1) 気軽に人が集う「楽しい施設」

(仮称)南部コラボセンターがめざすのは、地域の日常を元気に、楽しくすることです。

「特別な」「立派な」施設であるより、「馴染みの」「いつもの」「気軽な」施設であることが理想で、「用事のある人」だけではなく「ふらりと立ち寄れる」ような、気軽に人が集う「楽しい場所」となるようめざします。



屋外の芝生広場、屋内のカフェで気軽に人が集う「武蔵野プレイス(武蔵野市)」

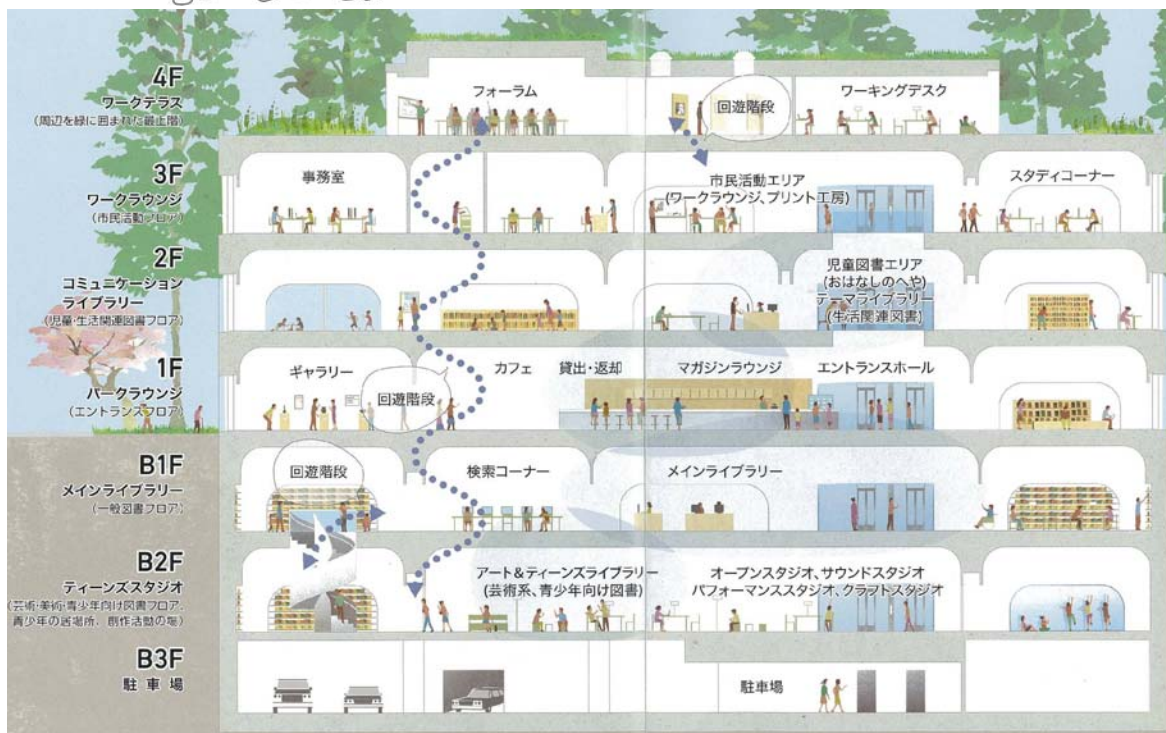
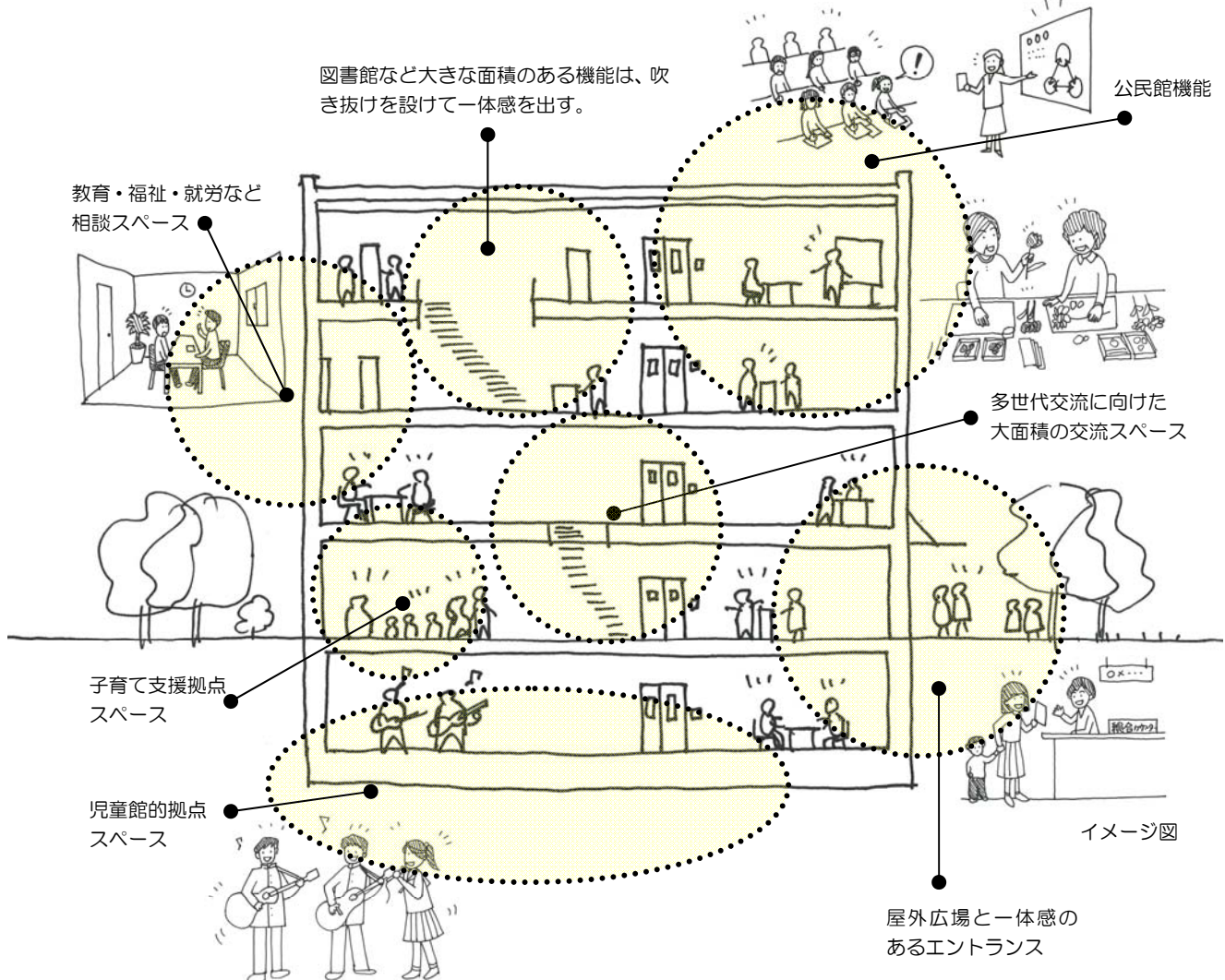


商店街に面した広場「富山グランドプラザ(富山市)」

(2) 一体感のある「複合施設」

複合施設は、機能ごとにバラバラになりがち。(仮称)南部コラボセンターは、生活、学習等支援拠点機能など5つの機能(P21)がつながり、連続し、混ざり合った一体感のある施設とします。

子育て層、青少年など、利用者層ごとに1つのフロアーに複数の機能を集めることで「ヨコにつないだり」、吹き抜けをもうけて「タデにつなぐ」など、「つなぐデザイン」を工夫します。

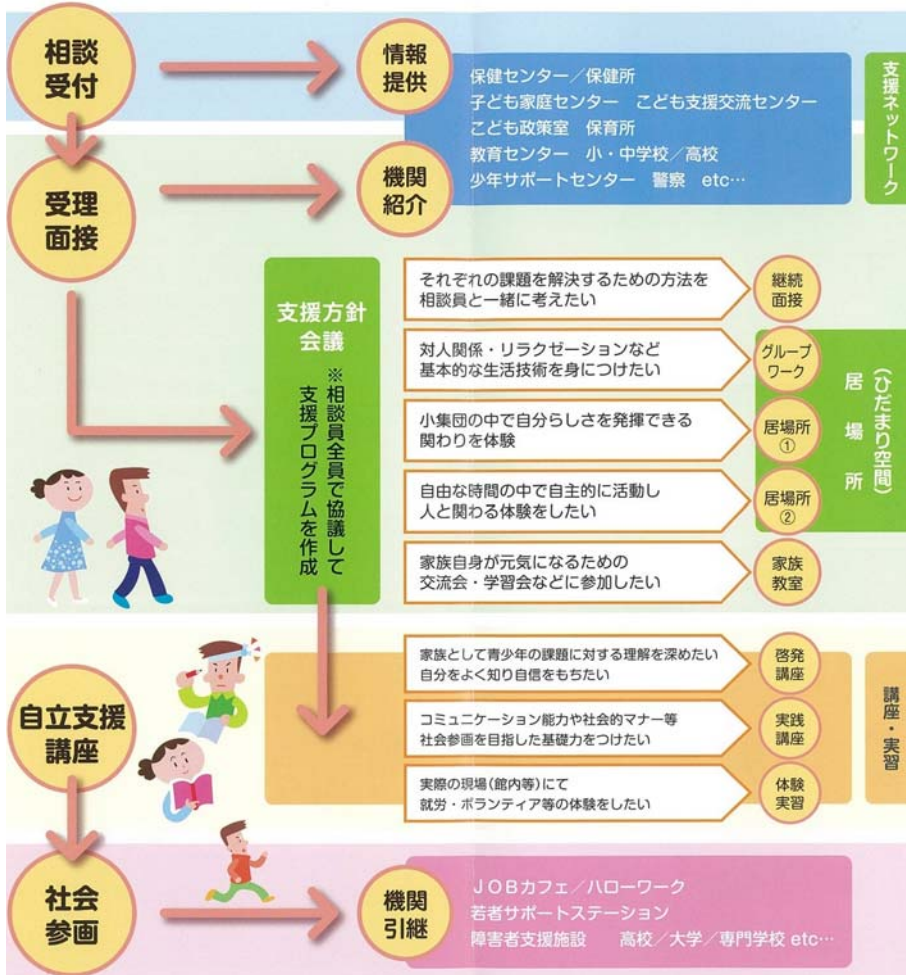


各階に分散配置した図書館と吹き抜けや仕切りのない空間で一体感が形成された「武蔵野プレイス」

(3) 頼りになる「専門施設」

(仮称) 南部コラボセンターは、「誰でも」「いつでも」利用できる気軽な施設であると同時に、「誰かに」「必要なときに」しっかりとサポートできる専門施設として、地域住民を支える施設になることが求められます。

必要な支援体制と相談室などのスペースが整った施設にするとともに、「何かを」「誰かと」打ち込むことのできるような居場所として利用される施設をめざします。



[夢つながり未来館]
 青少年活動サポートプラザ

ぷらっとるーむ 吹田

自立(社会参画)に向けての
「はじめの一歩」を応援します!

「ぷらっとるーむ吹田」は気軽で専門的な相談機関として、青少年の自立(社会参画)を支援するところです。相談員は、臨床心理士などの専門資格を有し、教育の分野、発達障害の分野、就労の分野など幅広い相談の経験を有しています。ここで、自立(社会参画)に向けてのきっかけを見つけ、エネルギーをたくわえてください。相談員が、その歩みの一歩一歩を支援します。ご相談の内容につきましては秘密をお守りします。また、ご相談の内容によって、より適切な他の専門機関などをご紹介しますこともあります。

吹田市在住・在勤・在学の方

支援の対象
 ひきこもり、ニート、不登校など、様々な生きづらさを感じて、社会とのつながりが少なくなっている青少年及びその家族。

支援の内容
 ●個別面接 ●居場所 ●家族教室 ●自立支援講座
 ●自立支援実習 ●支援ネットワーク構築

支援メニュー、支援体制、支援スペースが充実した「吹田市立子育て青少年拠点 夢つながり未来館」

1階

大型児童センター受付
 予約受付や道具の貸し出しなどをします

運動室
 バスケやバドミントンなどができます
 グループ予約でも利用できます(要予約)

情報図書室
 パソコン・雑誌・図鑑などがあります

フリースペース
 自由に使えるのんびりできるよ

そのほかに卓球台やバンパールがあり、カウンターではトランプやいろいろなゲーム類を貸し出しています。暇なとき、友達と遊びたいとき、ちょっと運動したいとき、いっぱい遊んでください!

2階

音楽ダンス室
 ダンスの練習に使えます

音楽室
 バンドや楽器の練習ができます

ビリヤード
 中学生以上から使えます

3階

会議室
 空いていれば勉強室として利用できます

クラブ紹介

大型児童センターでは自主的に中高生のクラブ活動をたちあげて活動ができます。

(例) バドミントン 卓球クラブ
 格闘技 ヒップホップダンス
 大道芸 手芸クラブ
 フレッシュ合唱団 など

いつでも見学自由です!

中高生のためのイベントもいろいろ

- ・クリスマスパーティー
- ・ヒップホップダンス教室
- ・料理・お菓子作り
- ・3on3大会
- ・トークバトル
- ・ミュージックスクール などなど

ボランティアやリーダーとしても活躍

- ・小学生とあそぶボランティア
- ・夏休みなどを利用して小学生向けのイベントの企画
- ・赤ちゃんのふれあいボランティア
- ・大型児童センターのイベントを企画

老人福祉センターと大型児童センターの複合施設「フレミラ宝塚」
 (大型児童センターについては宝塚市内在住、在学の18歳以下の児童の方に限る)

(4) まちに溶け込んだ、まちの魅力を発信する「名所施設」

(仮称) 南部コラボセンターは、南部地域の活性化のきっかけとなり、シンボルとなることをめざすものです。そのような施設に求められるのは、「わかりやすさ」「入りやすさ」「かっこよさ」でしょう。

「わかりやすい」施設とするために、地域の誰もが知っているまちのランドマーク(目印、名所)となるデザインを、「入りやすい」施設とするために、よそよそしくない、まちとなじむデザインを、「かっこよい」施設とするために、「行きたくなり」「すすめたくなり」「行かせたくなる」ようなデザインを検討します。



駅からよく目立ち、わかりやすい「吹田市立子育て青少年拠点 夢つながり未来館(上)」「武蔵野プレイス(下)」



元市役所の建物を活用し、前面にイベント広場を備えた「立川市子ども未来センター」

(5) 災害時の拠点となる「防災施設」

南部地域は、阪神・淡路大震災の際には、市内で特に大きな被害のあった地域で、現在でも、古くなった木造住宅が密集して集積しているなど防災面での課題を抱えています。(仮称)南部コラボセンターは、地域住民の暮らしを支える拠点として整備するもので、その考え方は災害時においても同様です。

平時だけでなく、災害時においても地域住民の暮らしを支える拠点になるよう検討します。



平時は市民活動拠点、非常時は防災拠点となる「輝きプラザざらら(枚方市)」



平時は産業振興拠点、非常時は防災拠点となる「大阪産業創造館(大阪市)」

平時はまちづくりなどの拠点、非常時は防災拠点となる「ひとまち交流館(京都市)」

7. 基本構想作成の経過

(1) 作成の経過

① (仮称)南部コラボセンター整備検討会議

	開催月	回	内容
平成 23 年度	7月	第1回	● 整備検討会議趣旨 ● 整備検討会議の進め方 ● 南部地域内施設の現状と課題
	9月	第2回	● 連携事業の現状の取り組み（子どもの学力をテーマに） ● 今後の連携事業の企画
	11月	第3回	● 「雇用」「生活福祉」をテーマにした事業・現状報告 ● 「学力向上支援事業」「世代間交流講座（しょうない交流講座）」等の報告
	1月	第4回	● 庄内出張所業務から見えてくるもの（事例紹介）
	3月	第5回	● 平成23年度検討のまとめ ● 平成24年度の取り組み（進め方） ● 学力向上支援事業（日曜学習）実施報告
平成 24 年度	5月	第1回	● 平成23年度の取り組み（ふりかえり）と平成24年度の取り組み（進め方） ● 地域（市民）諸団体（代表者）訪問について ● 基本構想の“骨格”部分の検討
	7月	第2回	● 講演『南部地域の魅力発見・活性化に向けて～庄内地域の歴史への招待』 講師：森本吉道さん（郷土史家） ● 基本構想の“骨格”部分の検討
	9月	第3回	● 講演『南部地域の魅力発見・活性化に向けて～庄内バルの取り組みから学ぶ』 講師：佐々木妙月さん（情報の輪サービス株式会社 代表取締役） ● 「庄内バル」について ● これからの庄内のまちづくりに必要と思われること
	11月	第4回	● 講演『連携モデル事業「学力向上支援事業（日曜学習）」の取り組みについて』 講師：元第十五中学校校長 北野隆司さん ● 講演『南部地域の魅力発見・活性化に向けて～とよなか音楽月間の取り組みから学ぶ～』 講師：文化芸術室 職員
	1月	第5回	● 南部コラボセンター基本コンセプト ● 講演『しょうないREKのキセキ～協働事業提案制度-しょうないREK-の取り組みについて』講師：小池繁子さん（しょうないREK 代表） ● 講演『庄内・豊南町地区のまちづくり～「第3次庄内地域住環境整備計画」「新・豊南町地区整備計画」について』 講師：市街地整備課 職員
	3月	第6回	● 学力向上支援事業（日曜学習）の報告 ● 平成25年度のスケジュール ● 南部地域活性化市民フォーラムー南部地域のまち・ひと・夢・未来を語るー（報告）
平成 25 年度	5月	第1回	● 平成24年度の取り組み（ふりかえり） ● 基本構想の内容検討に向けてのフリーディスカッション ● 市民会議の発足に向けて
	6月	第2回	● 南部地域の学校教育施策について〔報告〕 ～『学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた具体的方策の方向性について（答申）』より ● 基本構想の内容検討 ● 市民会議の発足に向けて
	7月	第3回	● 基本構想の内容検討〈中間まとめ〉 ● 市民会議の発足に向けて ● ラウンドテーブルについて
	9月	第4回	● 市民会議（報告） ● ラウンドテーブルの進め方 ● 基本構想の内容検討 ● 連携モデル事業について
	11月	第5回	● ラウンドテーブルの進め方 ● 基本構想の内容検討 ● 市民会議の進め方
	1月	第6回	● 市民会議（報告） ● ラウンドテーブル（報告） ● 基本構想の内容検討
	2月	第7回	● ラウンドテーブル（報告） ● 基本構想の内容検討

② 南部地域活性化市民会議

	開催月	回	内容
平成 25 年度	9月	第1回	<ul style="list-style-type: none"> ● 南部地域活性化市民会議の設置趣旨 ● 平成25年度市民会議のスケジュールと進め方 ● (仮称)南部コラボセンター整備検討会議の取り組み(報告) ● 意見交換
	11月	第2回	<ul style="list-style-type: none"> ● ラウンドテーブルについて ● (仮称)南部コラボセンター整備検討会議の取り組み(報告) ● 意見交換
	3月	第3回	<ul style="list-style-type: none"> ● ラウンドテーブル(報告) ● (仮称)南部コラボセンター整備検討会議の取り組み(報告) ● 平成26年度の取り組みについて

(2) 連携事業

① 学社連携事業

開催年度	開催日	事業名	講師
平成23年度	11/6~2/26	学力向上支援事業(日曜学習)	元第十五中学校校長 北野隆司さん
平成24年度	8/27~8/31	夏休み学習サポート事業	元第十五中学校校長 北野隆司さん他
	11/4~2/17	学力向上支援事業(日曜学習)	元第十五中学校校長 北野隆司さん他
平成25年度	8/26~8/30	夏休み学習サポート2013	元第十五中学校校長 北野隆司さん他
	11/3~2/16	学力向上支援事業(日曜学習)	元第十五中学校校長 北野隆司さん他

学力向上支援事業(日曜学習)

平成24年(2012年)11月4日(日)~平成25年(2013年)2月17日(日)
10時~12時

対象:庄内小学校6年生 第六中学校全学年

講師: ^{きたの たかし}北野 隆司さん(元第十五中学校校長)
教職を希望する大学生・学習指導経験者(成人)
放課後学習・日曜学習OBの高校生など 11名

南部地域中学校で開催されている、放課後学習事業などの学力向上をめざす事業を、地域連携のもと公民館の施設・人的ネットワークなどを活用し、一体的に推進することをめざし、日曜日の午前中に開催しました。参加生徒は学校とは違う雰囲気のかなか、和やかに楽しく学習していました。



●参加者アンケート●

- *日曜日に起きる習慣ができた!復習ができた!(小学6年生)
- *勉強を楽しくやれてよかった(小学6年生)
- *点数が上がり、点数が上がることによって、次のテストでも頑張ろうというやる気が出た(中学2年生)

大学生と勉強しよう！夏休み学習サポート

平成 24 年（2012 年）8 月 27 日（月）～31 日（金）10 時～12 時

対象：小学生 1 日 50 名 参加者：5 日間のべ 91 名（1 日平均 18 名）

参加費：無料

講師：北野 ^{きたの たかし} 隆司さん（元第十五中学校校長）

教職を希望する大学生 10 名

朝から子どもたちが集まり、大変賑やかな五日間でした。夏休みの宿題を中心とした自主学習がメインでしたが、間に数学ゲームや大学生のミニ授業も取り入れました。初日は開校式、最終日には閉校式を行い、館長から表彰状を授与したり、イベント盛り沢山でした。大学生講師はみな教員を目指しており、指導は優しく熱心で、子どもたちも積極的に交流していました。保護者のアンケートも好評で「良い試みだと思う」「来年以降も継続してほしい」という意見が多く、来年以降も口コミで広がってほしいと思います。



●参加者アンケート●

*大学生の先生とも仲良くなれたし、分からないところを教えてくれた。来年もあったら絶対参加したいです（小学 3 年生）

*分からないところを全部教えてくれたので、宿題をすく終わらせることができました（小学 4 年生）



② 次世代育成事業

開催年度	開催日	事業名	講師
平成 23 年度	11/6、13	しょうない交流講座	庄内公民館登録グループ会員
平成 24 年度	11/25、12/9	初めての手編み	手編みグループ会員 北摂こども文化協会
	12/22	親子クッキング クリスマスケーキづくり	家庭料理の会シャンゼリゼ会員
	2/9	バレンタインチョコレートをつくろう	家庭料理の会シャンゼリゼ会員
	2/17～3/17	レッツ！フラ～フラダンス入門～	フラ舞・ロカヒ会員 北摂こども文化協会
平成 25 年度	9/30	おやこ運動あそび	庄内幼稚園・庄内たちばな保育園 教諭 塩飽和也さん他
	11/29	庄内公民館であそぼう	地域子育て支援センター 保育士
	1/19～2/23	キッズダンスしょうない	庄内わんぱくの杜 ダンス講師 安岡愛さん
	2/23	キッズランドしょうない	

キッズランドしょうない

平成 26 年（2014 年）2 月 23 日（日）11 時～14 時

対象：就学学前の子どもと保護者 当日参加：約 1,500 名

庄内文化センター（庄内公民館、庄内図書館、庄内老人福祉センター）全館を使用し、各部屋をコーナーに見立て、遊び・体験・講座を実施しました。

南部地域の子育てを応援し、子育て世代が安心して住み続けられるようなまちをめざし、南部地域の子育て世代を地域のあらゆる団体・住民が支援して見守っていくという思いを未来につないでいくために、今年度初めて開催した取り組みです。



●参加者アンケート●

- *こども対象のイベントで、地域を活性化することはとても良いことだと思います。
（こども4歳/女性）
- *おばあちゃん、おじいちゃんと物を作れたことも良い体験になりました。
（こども5歳/女性）
- *こんなに多くの人がいるとは思わなかったのでびっくりしました！
すごく楽しかったです（こども4歳/女性）



③ 地域の魅力発信＜職人・達人編＞

開催年度	開催日	事業名	講師
平成 23 年度	10/1	おもしろ遊び かわいい小物づくり	工芸品アドバイザー 宮崎千鶴さん
	11/6	男の料理教室 『手軽に買える「秋鯖」のフルコースに挑戦!!』	株式会社鯖や 寿司職人 右田高有佑さん
	12/18	フラワーアレンジにチャレンジしよう	フラワーショップ水彩えのぐ 福島まさよさん
平成 24 年度	5/12	ひもを結んで作ろう	工芸品アドバイザー 宮崎千鶴さん
	6/27	女性の鯖料理教室	株式会社鯖や 寿司職人 右田高有佑さん
	8/29	夏こそ豚まん “きむけんさん”の豚まん講座	チャーシュー工房きむけん家 代表 小林健太郎さん
	9/25	庄内 まちの匠を訪ねて 富士インパルス工場見学	富士インパルス株式会社
	10/23	男のカツオづくし料理教室	株式会社鯖や 寿司職人 右田高有佑さん
	11/27	女性のイタリア料理教室	クッチーナカサイ オーナーシェフ 笠井宏普さん
	12/8	生花のフラワーアレンジメントにチャレンジ	フラワーショップ水彩えのぐ 福島まさよさん
	12/17	おせち料理で家族のあたたかさを伝えよう	家庭料理の店『百菜』 井澤景代さん
平成 25 年度	8/29	庄内まちの魅力発見 ものづくりの匠とつくる額縁	(株)コタキクリエイティブワークス 取締役営業部長 鈴木康弘さん
	3/21	庄内まちの魅力発見 ものづくりの匠とつくる宝箱	(株)コタキクリエイティブワークス 取締役営業部長 鈴木康弘さん

男のカツオづくし料理教室

平成24年(2012年)10月23日(火)10時~14時

対象:成人男性16名 当日参加:16名 参加費:2,000円

講師:右田^{みぎた} 高有^{こうすけ}佑さん(株式会社鯖や 寿司職人)

講師の右田さんは、昨年開催した「男のサバ料理教室」の経験もあって、カツオの捌き方の説明もとても分かりやすかったです。料理に挑戦したい気持ちで参加された方が多く、みなさんとても熱心にカツオを捌いて作っていました。自分で作った料理はとても美味しいと感じられ、満足されていた様子でした。



●参加者アンケート●

- *講師の話し方が親身で良かったです(60歳代/男)
- *料理が出来る男になれたらと思います(50歳代/男)
- *非常に良かったです。もっと回数を増やしてください(60歳代/男)



庄内まちの匠を訪ねて 富士インパルス工場見学

平成24年(2012年)9月25日(火)14時~16時

対象:成人20名 当日参加:18名 参加費:無料

講師:富士インパルス株式会社

社長 山田^{やまだ} 邦雄^{くにお}(和那)^{かずくに}さん

地域貢献担当 森澤^{もりさわ} 薫^{かおる}さん

こちらの企業は、お米やコーヒー豆などが入ったナイロン袋を熱で閉じる機械を作っています。この機械の大きさは卓上サイズから工業用まで様々で、単に封をするだけでなく空気が入らないよう空気を吸い出し密封するものもありました。製造現場見学では、手作業による製造過程も多く見られ技術者の経験や匠の技に支えられていると感じました。



●参加者アンケート●

- *とても楽しく過ごさせて顶きました。庄内にこんな素敵な企業があったなんて思ってもみませんでした(60歳代/女)
- *とても丁寧に説明して下さい有り難い思いです。社長さんの地元への思いが伝わるお話が印象に残りました(60歳代/女)



④ 地域の魅力発信＜庄内音楽のまち編＞

開催年度	開催日	事業名	出演者等
平成 23 年度	8/1～3/15	庄内音楽のまちコンサート	大阪音楽大学 プレスティープラス 他5グループ
	10/21	大阪音楽大学「音楽博物館」見学会	大阪音楽大学准教授 松田淳一さん
平成 24 年度	4/19	庄内音楽のまち ジャズコンサート	大阪音楽大学卒業生 木村音登さん、今村友美さん
	6/29	一緒に歌おう童謡・唱歌	大阪音楽大学 Largo
	7/26	暑さなんてナンクルナイサ！ 沖縄三線コンサート	沖縄島歌唄者 石川陽子さん 八重山古典民謡保存会教師 久保田晃平さん
	8/3	大阪音楽大学楽器博物館見学	大阪音楽大学音楽博物館職員
	9/29	三歳からのミュージカル	大阪音楽大学 Nies
	11/7	まちかどコンサート	大阪音楽大学演奏員 岩崎慎也さん 他
	11/17	公民館まつりコンサート（2公演）	大阪音楽大学卒業生 芳村直也さん 他
	12/14	クリスマスコンサート	ハンドベルチーム myu、 アンサンブル 830 他
	1/9	新春 和を楽しむコンサート	大阪音楽大学邦楽科 学生他
	3/23	こどもミュージカルコンサート	劇団ウェスト
	3/29	春を呼ぶ女声アンサンブルのうたごえ	女声アンサンブル エコ・エレガンテ
平成 25 年度	4/18	ジャズコンサート	大阪音楽大学卒業生 谷口悠彦さん、 古川翼さん、竹本静香さん
	5/22	三線とギターが奏でる 沖縄民謡コンサート	沖縄島歌唄者 石川陽子さん 八重山古典民謡保存会教師 久保田晃平さん
	6/22	フォークソングコンサート	大阪音楽大学 なんのけ
	9/28	クラシックコンサート	大阪音楽大学 pelaisir
	10/27	庄内音楽のまち 3歳からのミュージカル	大阪音楽大学 演劇部
	1/16	庄内音楽のまち コン서트 『龍笛の魅力』	大阪音楽大学卒業生 芳村直也さん 他
	3/20	春を感じる童謡・唱歌を歌おう	大阪音楽大学 安川夏未さん、濱本美有さん、 三谷晴佳さん

3歳からのミュージカル

平成24年(2012年)9月29日(土)14時~15時

対象:親子40組 当日参加:42組 参加費:無料

出演:大阪音楽大学学生 Nies

八乙女 空さん、戸井 絵実さん

脇坂 法子さん、新林 れんさん

大阪音楽大学在学中で結成されている“Nies”のみなさんによる自作のミュージカルに親子で楽しむ姿が随所に見られました。最後には、出演者から手作りのメダルを一人ひとりに手渡して下さり、子どもたちは大変喜んだ様子で受け取っていました。



●参加者アンケート●

- *そばまで来てくれて身近に感じられるのが嬉しかったです。お姉さん方の声がとてもキレイでステキでした(30歳代/女)
- *知っている曲がたくさんあったので、子どももノリノリで話が聞けました(30歳代/女)



新春 和を楽しむコンサート

平成25年(2013年)1月9日(水)14時~15時

対象:成人80名 当日参加:109名 参加費:無料

出演:大阪音楽大学 邦楽科:森 尚さん、森本 桂子さん

饗庭 圭輔さん

大阪音楽大学 卒業生:藤川 晃史さん、岩崎 慎也さん

植田 由加里さん

新春コンサートということで、日本の伝統楽器(箏と尺八)の演奏を日本歌曲の歌唱で日本の趣、情緒を味わっていただこうと企画しました。年始早々でしたが、たくさんの方々にお集まりいただき、新年の喜びを109名の皆さんで祝うことができました。



●参加者アンケート●

- *生演奏を聞く機会が少ないので、毎回楽しんでいます(60歳代/女)
- *新春コンサートらしくお琴がとてもふさわしく、良かったです(70歳代)



曲目…「春の海」「さくら」「ふるさと」ほか
(協力)

*舞台背景作成…「庄内アートで書」

*ステージ台提供・設置…「楸コタキクリエイティブワークス」

⑤ 地域の魅力発信＜歴史編＞

開催年度	開催日	事業名	講師
平成 23 年度	11/10、17、22	とよなか歴史散歩 南部編	地域教育振興室 文化財保護チーム職員
	3/23	阪急電車の郷土史散歩～豊中編	元第六中学校長 能登宏之さん
平成 24 年度	7/24～31	平和月間事業 『語り継ごう 豊中南部空襲』 (パネル展)	
	7/27	知ってる?!庄内式土器 —日本考古学史に名をとどめる土器—	地域教育振興室 文化財保護チーム職員
	7/31	平和月間事業 『語り継ごう 豊中南部空襲』(講演会)	元第六中学校校長 能登宏之さん他
	8/28	私が語る「庄内地域の歴史と魅力」	庄内神社宮司 北島孝昭さん
	11/21～11/28	とよなか歴史散歩～南部編Ⅲ～ (棕櫚神社と承久の乱)	地域教育振興室 文化財保護チーム職員
	11/27	赤穂浪士 萱野三平の魅力 ～新福寺住職が語る～	新福寺住職 水谷進護さん
	1/18～31	北摂アーカイブス 写真パネル展&資料展示	庄内図書館
	1/23	私が語る「庄内地域の歴史と魅力」 ～豊南市場とともに生きて	豊南市場商人会会長 田中良直さん
平成 25 年度	12/9	赤穂浪士・萱野三平の時代	新福寺住職 水谷進護さん
	1/15～1/22	とよなかの歴史	豊中市教育委員会 文化財保護チーム職員
	2/19～2/26	とよなかの史跡・余話 ～小曾根、服部、庄内～	元小学校長 瀧 健三さん
	3/22	豊中市南部地域の歴史を知ろう	大阪府文化財愛護推進委員 森本吉道さん

庄内まちの歴史発見 赤穂浪士・萱野三平の魅力-新福寺住職が語る-

平成 24 年 (2012 年) 11 月 27 日 (火) 14 時～15 時半
 対象：市民 25 名 当日参加：30 名 参加費：無料
 場所：日蓮宗 如説山 新福寺本堂

講師：水谷^{みすたに} 進護^{しんご}さん (日蓮宗 如説山 新福寺住職)

萱野三平をテーマにしていますが、ひとつのテーマについて語る際には、様々な背景を語る必要があります。そこで忠臣蔵にまつわる大石内蔵助、吉良上野介に関するよもやま話など、多岐様々な話をしていただきました。普段の公民館とは雰囲気も違う新福寺本堂にお伺いすることもでき、しかも住職に講演いただいたことも新鮮で、有意義で貴重な時間だったと思います。



●参加者アンケート●

- *お寺さんや神社の人、地域の古老、郷土史の研究者の話を聞きたい (40歳代/男)
- *住職様の大変上手な語りに聞き入り本当に良かったです。又の機会を楽しみにしています (60歳代)



庄内まちの歴史発見

知ってる?!庄内式土器

—日本考古学史に名をとどめる土器—

平成 24 年（2012 年）7 月 27 日（金）10 時～11 時半

対象：小学 5・6 年生以上 30 名 当日参加：25 名

参加費：無料

講師：^{はっとり}服部 ^{さとし}聡志さん（市教委文化財保護チーム長）

参加者は歴史や考古学に興味を持たれている方が多く、講師からの質問・クイズに対しても積極的に回答されていました。また、土器レブリカの体感、体験の際や終了後にも残って質問されている方も多く、特に「“庄内式土器”が、この地域で発掘された土器と知り、学びたいと思った」という動機で参加された方もおられました。



●参加者アンケート●

- *土器の軽さに驚きました。なかなか手に取ることができない土器に触れられてよかったと思います（60 歳代/女）
- *非常に素晴らしい土器を手にしたことに、感動した（70 歳代/男）



⑥ サテライト事業

開催年度	開催日	事業名	講師
平成 25 年度	2/9	日本航空の折り紙ヒコーキ教室 ＜豊南小学校 体育館＞	日本航空整備士、パイロット 他

庄内公民館・豊南小学校・健全育成会と連携事業

日本航空の折り紙ヒコーキ教室

平成 26 年（2014 年）2 月 9 日（日）10 時～12 時

対象：小学生と保護者 100 名 当日参加：80 名

参加費：100 円

会場：豊中市立豊南小学校 体育館

講師：日本航空の整備士
パイロットほか 6 名

日本航空の整備士、パイロットのお話がありました。子どもたちは 30 分間集中して話を聞いて、質問も積極的にしていました。折り紙ヒコーキ教室が始まりました。折り紙ヒコーキは、ヘソヒコーキといかヒコーキの 2 種類を作り、最後は学年ごとと保護者も一緒に、折り紙ヒコーキ競技を行いました。学年別に最も遠く飛んだ紙ヒコーキには、日本航空からの景品として折り紙ヒコーキ・スカイキングのプレゼントがありました。



⑦ まちづくり事業

開催年度	開催日	事業名	講師
平成 24 年度	2/23	南部地域活性化市民フォーラム 南部地域のまち・ひと・夢・未来を語る	京都産業大学 文化学部教授 西川信廣さん 他
平成 25 年度	11/7	豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル① (教育・子育て)	
	1/14	豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル② (地域活性化)	
	2/14	豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル③ (防災・防犯)	

南部地域活性化市民フォーラム-南部地域のまち・ひと・夢・未来を語る

平成 25 年 (2013 年) 2 月 23 日 (土) 14 時～16 時 対象：市民 当日参加：220 名

豊中市南部地域の魅力を色々な角度から再発見しながら、南部地域の更なる「にぎわい」づくり、「地域活性化」、また「夢・未来あるまちづくり」に向けて、市民のみなさんとともに考えました。

また、この市民フォーラムを契機に、様々な領域から市民のみなさんの力が集まり、南部地域の課題を正面に見据えた具体的な取り組みがデザイン化されることめざしていくものです。



●参加者アンケート●

*中身の濃い会合であった。南部に力を入れて行くという事はいいこと。やっとという思い。

何回か報告にこういう集まりを持って欲しい。

*パネラーの皆さまのすごい熱意が感じられました。私たち地域住民とも頑張らないと思いました。

本当に有り難うございました。〈60代〉

〈 ラウンドテーブル 〉

- 開催日程 / 平成 25 年 11 月 7 日 (木) (25 年度第 1 回)
- テーマ / ～南部地域のまち・ひと・夢・未来を語りあおう～「わたしたちが子育て・教育について思い、願うこと」
- 参加者 / 16 名
- 主な議論内容 / ・子育ての現状について
 - ・学力向上に必要なことについて
 - ・キャリア教育に必要なこと、子どもたちの生きる力を育むために地域社会にできることについて



- 開催日程 / 平成 26 年 1 月 14 日 (火) (25 年度第 2 回)
- テーマ / 「魅力あふれるまち、活気あふれるまちをめざして～地域活性化、地域魅力の発見・創出にむけて～」
- 参加者 / 24 名 (2 グループ合計)
- 主な議論内容 / ・地域活動の担い手の発掘について
 - ・地域における人と人との関係づくりについて
 - ・地域資源を活かした取り組みについて
 - 一下町情緒、工場集積、大阪音楽大学などの活用について一

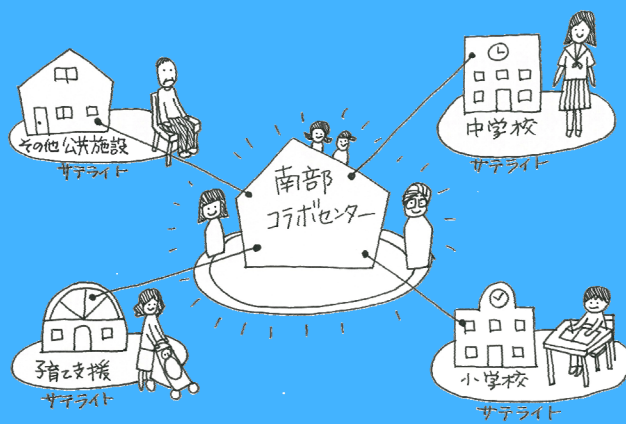


- 開催日程 / 平成 26 年 2 月 14 日 (金) (25 年度第 3 回)
- テーマ / 「防災・防犯など、安心・安全なまちをめざして」
- 参加者 / 22 名 (2 グループ合計)
- 主な議論内容 / ・阪神淡路大震災の経験を活かした取り組みについて
 - ・防災・防犯と自治会の関係について
 - ・地域における防災・防犯活動について



参考文献一覧

- 豊中市都市計画マスタープラン / 平成 23 年 (2011 年) 3 月 / 豊中市まちづくり推進部都市計画課
- 豊中市雇用・就労施策推進プラン (基本方向) / 平成 20 年 (2008 年) 7 月 / 豊中市市民生活部商工労政課
- 「第 2 期豊中市地域福祉計画」中間見直し / 平成 24 年 (2012 年) 3 月 / 豊中市
- 豊中市産業状況調査報告書 / 平成 24 年 (2012 年) 2 月 / 有限会社協働研究所
- 豊中市教育振興計画 / 22 年 (2010 年) 3 月 / 豊中市教育委員会
- 学校規模と通学区域に関する課題の解消に向けた具体的方策の方向性について (答申) / 平成 25 年 (2013 年) 5 月 24 日 / 豊中市学校教育審議会
- 少子高齢化における人口の変化と市政への影響に関する調査研究一住民基本台帳の異動情報からみた人口移動一 / 平成 25 年 (2013 年) 3 月 / とよなか都市創造研究所
- 新修 豊中市史
- ええやん! しょうない 庄内瓦版 Vol.9~Vol.13 / しょうない REK
- 教育要覧
- 大阪音楽大学ホームページ



(仮称)南部コラボセンター基本構想

子どもに夢を！ 地域に輝きを！

南部地域がまとまる、つながる、元気になる。

豊中市

平成 26 年（2014 年）3 月発行

デザイン協力／街角企画株式会社